

SHIMANE UNIVERSITY

国立大学法人 島根大学 大学案内 2025





人とともに 地域とともに

創立以来70余年にわたり、幅広い分野において学生の学びを支えてきた島根大学。そのキャンパスは、雄大な自然と悠久の歴史に囲まれた地にあります。ゆったりとした穏やかな時間が流れる環境は、充実した大学生活を送るのにぴったり。人とともに、地域とともに、あなたをしっかりと支える豊かな学びの場です。

CONTENTS

学長メッセージ	P04
特色ある教育	P05
7つの学部	P13
法文学部	P15
教育学部	P19
人間科学部	P23
医学部	P27
総合理工学部	P31
材料エネルギー学部	P35
生物資源科学部	P39
大学院	P43
キャンパスライフ	P45
部活・サークル	P49
施設紹介	P51
国際交流・留学制度	P53
学生生活支援	P55
修学・健康支援	P57
就職支援	P59
学生寮	P61
島根大学の入試	P63
令和6年度入試結果	P65

島根大学憲章

島根大学は、学術の中心として深く真理を探究し、専門の学芸を教授研究するとともに、教育・研究・医療及び社会貢献を通じて、自然と共生する豊かな社会の発展に努める。とりわけ、世界的視野を持って、平和な国際社会の発展と社会進歩のために奉仕する人材を養成することを使命とする。この使命を実現するために、島根大学は、知と文化の拠点として培った伝統と精神を重んじ、「地域に根ざし、地域社会から世界に発信する個性輝く大学」を目指すとともに、学生・教職員の協同のもと、学生が育ち、学生とともに育つ大学づくりを推進する。

1 豊かな人間性と高度な専門性を身につけた、自ら主体的に学ぶ人材の養成

2 特色ある地域課題に立脚した国際的水準の研究推進

3 地域問題の解決に向けた社会貢献活動の推進

4 アジアをはじめとする諸外国との交流の推進

5 学問の自由と人権の尊重、社会の信頼に応える大学運営



島根大学 S D G s 行動指針

島根大学は、大学憲章において“自然と共生する豊かな社会の発展に努める”ことを謳っています。わたしたちは、不断の教育・研究・医療等の活動はもとより、地方創生の推進、平和な国際社会の発展とインクルーシブな社会の実現に寄与する人づくりを通じて、S D G s の達成に向けて活動することにより、持続可能な社会の構築に貢献します。特に、島根大学の地理的特性を生かし、自然環境の保全・継承のため、地域と強く連携し、あわせて学生のSDG s 意識を高める教育に努めます。



豊かな歴史・文化と自然の中で 先端を学び「真の持続性」の創造を！

島根大学は、松江と出雲の2キャンパスに、自然科学系、人文社会科学系、医学系の7学部、4研究科のバランスの取れた構成に、240名あまりの留学生を含む約6000名の学生が学ぶ国立総合大学です。宍道湖・中海など汽水域、古代出雲、人口減少、高齢化社会の健康長寿など地域の特色や課題に基づく先導的な自然科学・人文社会科学の研究・教育、さらにすべての基礎となりAIなどの進展に対応できる力をつけるために必須の数理・データサイエンス教育を展開しています。昨年度には、世界的なエネルギー課題を材料の視点から解決を図るとともに地域産業の振興を目指す材料エネルギー学部を新設しました。さらに今年度から新たに、これらの自然科学、人文社会科学の学びを、学部、学科を飛び越えて学生自らが主体的にプログラムして、文理融合した「総合知」を学ぶ「クロス教育」という仕組みを作りました。

今世界では、Volatility(変動性)、Uncertainty(不確実性)、Complexity(複雑性)、Ambiguity(曖昧性)の4つの単語の頭文字をとった「VUCAの時代」という言葉や、人類の活動が、地球の歴史上、小惑星の衝突などに匹敵するような地質学的な変化を地球に刻み込んでいることを表わす「人新世」という言葉が示すように、人類を含む生命の場としての地球の持続可能性が脅かされています。これらの地球的課題を、世界で連携して解決しようとする試みが、2030年までのSDGs持続可能な開発目標や、さらにその後のカーボンニュートラルなどの取組です。本学でもSDGs行動指針を掲げて、留学生の受入・派遣による国際化や様々な活動を通じた地域との連携を含めて、多くの取組を進めています。

島根には、ユネスコ世界文化遺産の石見銀山遺跡、隠岐ユネスコ世界ジオパーク、国宝の出雲大社本殿、神魂神社本殿、松江城をはじめ7つの日本遺産と共に、古代出雲、茶の湯、和菓子をはじめ日本古来の歴史・伝統が今に息づいています。そして宍道湖をはじめ豊かな自然、新鮮で美味しい食べ物に恵まれています。これからの時代を担う若い皆さんが、地方の中でも指折りの豊かな歴史と文化、自然に恵まれ、先進的課題に取り組む島根の地に集い、世界的な課題を自分事としてとらえ、クロス教育を積極的に活用して、教職員、世界各国や地域の皆さんと一緒に真剣に考え、議論し、ともに学び、「真の持続性」へ向けた「ここにしかない学び」を主体的に創造されることを心から期待しています。

国立大学法人島根大学長

大谷 浩

EDUCATION

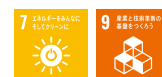
島根大学の特色ある教育

総合大学ならではの知的資源を最大限に活用して専門的に学べることはもちろん、実践的な取組ができるのも島根大学の大きな特徴。STEAM教育やグローバル化教育を強化し、アントレプレナーシップ、クロス教育、海外大学との交換留学など、幅広く充実しています。島根大学にしかない独自性のある教育プログラムが、一人ひとりの学びを支え、社会で活躍するための実践力を養います。



1 アントレプレナーシップ

「社会で生きる」実践教育



より良い社会の実現に向け、新たな価値創造にチャレンジ。

実社会で生起する課題の多くには、模範解答のようなものは存在しません。それどころかそもそも何が課題なのか、それ自体を見極める力が求められます。島根大学では、アントレプレナーシップ教育を通じて、自分が持つ知識・技術をいかに社会に活かしていくかを考え続ける能力を身に付けることにより、解決すべき課題を見極め、その困難な課題に積極的に挑戦し、乗り越えることのできる人材を育成します。

■ 起業を目指す学生を応援！

インキュベーションルーム

起業を目指す学生の活動スペースとして、また、同じ志を持つ学生・教職員等の交流の場として、「インキュベーションルーム」を開設しています。ディスカッションや打合せ、大学間の交流授業などの各種イベントなど、様々な用途で利用できます。多機能ホワイトボードや3Dプリンタなども整備されており、商品の試作品製作などにも役立てることができます。令和5年度はインキュベーションルームを利用した学生のうち3名が起業し、現在も活躍しています。

インキュベーションルームの説明はこちら



■ 授業紹介（材料エネルギー学部1年生必修科目）

「新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道」

材料エネルギー学部の「アントレプレナーシップ教育」は、学生と教員が大学の研究成果をいかに社会実装につなげるかというマインドとスキルを共に学ぶ教育です。「研究成果を誰のどのような悩みの解決に繋げるか」「どういう製品・サービスとして提供すれば社会に貢献できるか」という観点を踏まえ事業化を検討し発表します。社会課題に関心を持ち、その解決手段となる基礎技術を学び、その技術を活かしたビジネス提案を行うことにより、アントレプレナーシップマインドを醸成し、問題に立ち向かえる人材の育成を目指しています。





2 ものづくり教育

社会と未来を大きく変えるイノベティブな人材



ものづくり人材の育成

2018年11月から島根県の産官学金を挙げて地方創生を推進するプロジェクト「Next Generation TATARA Project」がスタート。このプロジェクトの研究・教育を担う拠点として、2021年に次世代たたら協創センター（NEXTA）研究棟が島根大学に設置され、ものづくり産業の活性化とものづくり人材の育成に取り組んでいます。センター長は、耐熱合金分野での世界的権威である、英国オックスフォード大学のロジャー・リード教授が務めています。島根大学生への講義や現地への研究研修派遣も行われており、世界レベルの研究を島根から目指すことができます。2023年には材料エネルギー学部を設置し、地域の強みであるものづくり分野を牽引できる人材を育成します。

■ オックスフォード大学との連携

NEXTAセンター長のロジャー・リード教授をはじめ、グラハム・マッカートニー教授ら、世界の第一線で活躍するオックスフォード大学の研究者による講義が全編英語で行われます。これらの授業では、耐熱材料や合金設計についての知識を深めると同時に、材料工学に関する専門英語の基礎的な読解力・記述力を身につけ、国際的な場での情報発信ができる人材の育成を目指しています。また、NEXTAの研究プロジェクトでは、オックスフォード大学との共同研究も進められており、密に連携しながらプロジェクトを推進しています。



■ 企業での実践的な学び

NEXTA教員の研究室に所属する学生は、NEXTAで行われる企業との共同研究に参画することができます。研究を通じて企業とのやり取りや現場の雰囲気を感じ、より実践的な学びの場を体験できます。また、材料エネルギー学部では、企業での長期インターンシップを卒業研究単位として認定する「長期インターンシップ型卒業研究」が予定されています。自身で活動計画を立て、企業での課題発見や開発等さまざまな活動を経験することで、大学で身に付けた専門知識を社会でどう活かしていくかを考え、実践できる学びを推進しています。



3 地域貢献

地域 × 創造力 = 可能性が無限大



専門性と協働力で地域の課題解決に挑む：地域人材育成コース

島根大学で2016年度から開設されている地域人材育成コースは、卒業後に島根県・鳥取県等での活躍を志す学生を選抜する入試を全学部で行い、学部横断的な教育を行う全国でも珍しい教育コースです。このコースでは学部横断型の正課教育・準正課教育により、「自らの専門性と多様な人材との協働を軸にした高い課題解決能力」を身につけます。

島根大学
地域人材育成コース
コース生になるには



■ 正課教育

地域を支える人材に必要な課題解決能力やイノベーション創出力を学部横断型の授業で身につけ、各学部の専門教育で培った専門知識や能力を発揮する力を強化しています。

【イノベーション創成基礎セミナー】

地域人材育成コースに所属する1年生を対象とした科目。フィールドワークを通じて、学生が持つ「地域で活躍したい」という「志」を「カタチ」にします。



■ 準正課教育

学年を超えたコース生同士の関わりを持つことや、地域の企業や自治体と連携したコース生のみで結成される学びの場を通じ、コース生の絆を深めます。

【コース生プロジェクト】

地域人材育成コースに所属する1年生が、地域の企業や自治体の悩みの解決に向けたプロジェクトに参加し、課題解決能力を身につけます。

【コース生「友の会」】

地域人材育成コースの1～3年生が縦割りで結成され、コース生同士の交流が行われています。





4 クロス教育

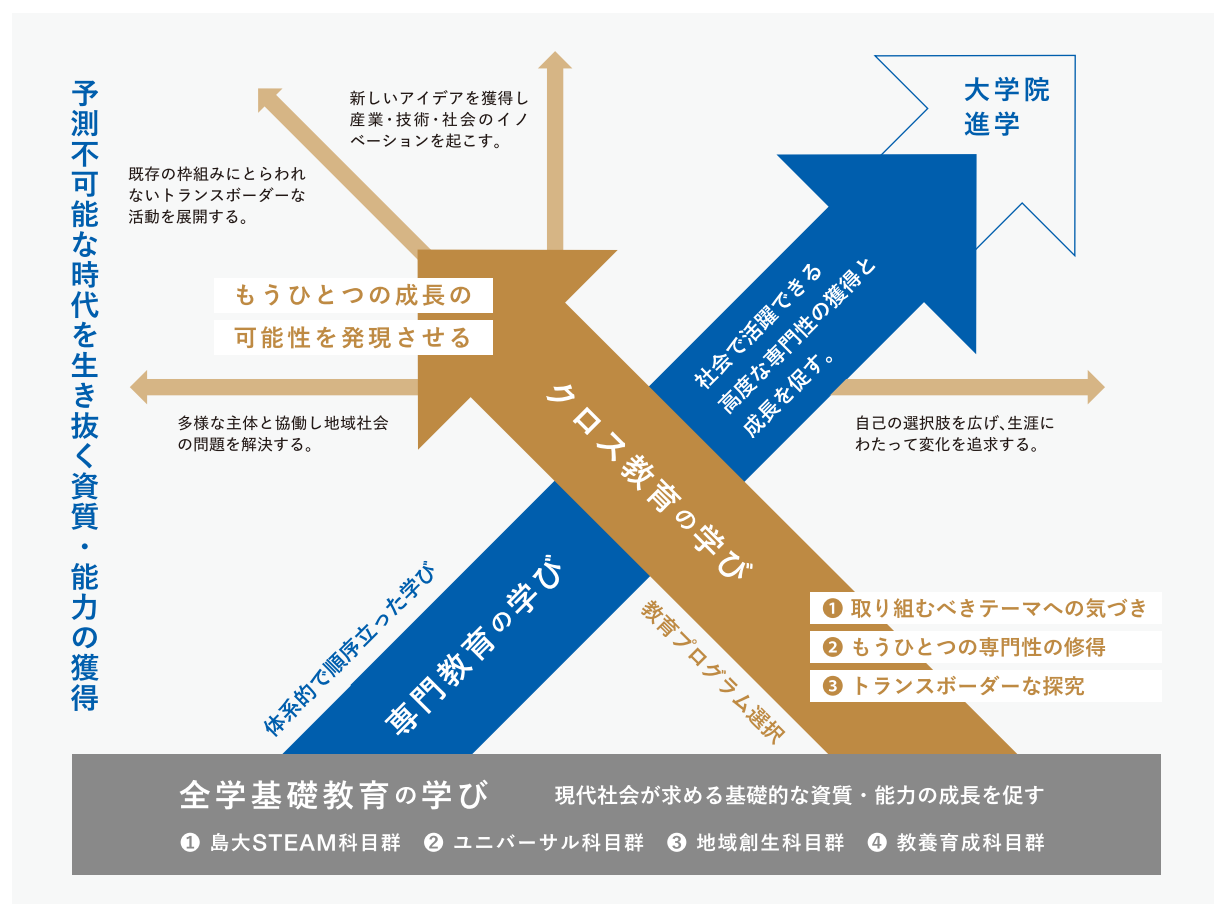
自分だけの学び（＝成長・変化）を設計



5種類・35のクロス教育（&その複数）× 大学の専門分野 × 自己の素質＝無限の可能性

自分の興味関心、自分の目標や取り組みたいことに応じて、柔軟に学ぶ内容を変化できるように教育課程を変化させました。また、身につけたい資質・能力に応じて、精選された複数の授業科目を組み合わせた様々な教育プログラムを用意しています。クロス教育では、これまで触れてこなかったような多様なテーマやフィールド、学問分野での学修を通じて、新たな発見をしたり、物事を多角的にとらえることができるようになったり、スキルを身につけたりすることで、さらに自己の成長を促すことができます。

島根大学での学びの全体像（全学基礎教育&専門教育&クロス教育）



■ テーマ別プログラム（１０単位）

特定の学問分野にかかわらず、現代社会の諸課題に関連したテーマを深く学ぶ教育プログラムです。各教育プログラムでは、テーマに関する知識や視野の獲得、実践性の向上を図り、自身の専門性を活かす方法を身につけることができます。

■ 同学部異領域専門プログラム（１０単位）

所属する学部において、他学科・他コース・他領域の専門性の高い授業科目からなる教育プログラムを履修することができます。自分が主として学ぶ分野に加えて、複数の専門の方法や視点を活かした研究を遂行できるようになります。

■ アドバンストプログラム（２０単位）

クロス教育の複数のテーマや方法を組み合わせて学びを発展させ、自己の成長の幅を広げることを目的としています。

■ 他学部学問基礎プログラム（１０単位）

所属する学部とは異なる他学部の学問分野の基礎的な知識の習得や、各学問分野と社会とのかかわり、当該分野固有のものの見方・考え方を学修します。所属する教育課程の学びと対比しながら、両者の視点を獲得することができます。

■ トランスボーダープログラム（３０単位）

トランスボーダープログラムでは、アドバンストプログラム（２０単位）に加えて、地域課題探求力、コーディネーション力、グローバル展開力などトランスボーダーな探求力を身に付けるプロジェクト型の専用教育プログラム（１０単位）を履修します。合計すると３０単位(1,350時間)に相当する学修をおこなう挑戦的なプログラムです。その分、自己を大きく成長させることができます。

詳しくは島根大学のサイトを参照してください。

学部・大学院 ▶ 修学インフォメーション ▶ 各種教育プログラム ▶ クロス教育





5 グローバル教育

世界とつながろう！



グローバルな感性の育成

島根大学では、国際感覚あふれる物事の見方を身につけ、実際にそれを活かすために必要な語学力が修得できるグローバル教育を積極的に展開しています。将来、地域の国際化に貢献したり、国際舞台で自分の力を十分発揮したい人は、「教室での学び」と「課外活動としてのグローバル実践活動」で力を蓄え、海外留学・研修に参加することで世界へと羽ばたいてください！

外国語に関する特別なプログラム

島根大学では、急速に進むグローバル化社会の中で活躍したい学生を積極的に支援するための教育制度を整えています。令和6年度より、全学基礎教育において国際社会で必要とされる技能や知識を修得できるグローバル化対応科目を整備し、高度な外国語運用能力、グローバルな視野、国際理解力及びコミュニケーション能力を習得するためにクロス教育プログラムを開講しています。

■ 英語クロス教育

高度な実践的英語コミュニケーションスキルを習得し、国際社会で機敏に活動することができる能力を身につけることができる「英語実践力養成プログラム」(10単位) [TOEIC 550点以上のレベル] と「グローバル・コミュニケーションプログラム」(10単位) [TOEIC 700点以上のレベル] の2つの英語クロス教育プログラムを履修することができます。



■ 初修外国語クロス教育

英語以外の各言語の運用能力や異文化理解を深めることを目的として、「中国語実践力養成プログラム」(10単位)、「ヨーロッパ言語文化実践力養成プログラム」(ドイツ語、フランス語) (10単位)、「韓国・朝鮮語実践力養成プログラム」(10単位)を開設しています。



グローバル実践活動

島根大学では、5月には留学ウィーク、11月にはグローバル月間を開催し、学生が授業以外でもグローバル実践力を磨くことができる様々なイベントを提供しています。留学生との楽しい文化交流や、身につけた英語力を試す絶好の機会となる英語スピーチコンテストも行っています。このような課外活動を通じて、国際社会での活動力や自己表現力を向上させ、国際市民として大きく成長していただきます。

■ 島大アンバサダ

学生が『島大アンバサダ』となり、海外からのゲストに英語で大学紹介やキャンパス案内を行っています。その活動のため、日常的な英語スキルアップ研修や文化体験も実施しています。



■ グローバル・コモンズ

島根大学では、学内に「グローバルコモンズ」を設け、イベントを開催しています。教職員・日本人学生と留学生が日常的に交流する場として、くつろいだ雰囲気の中、気軽に外国語で話ができる機会を提供しています。





7つの学部

自分の知りたいことを追究するのが大学の学びです。学部・学科を選ぶにあたっては、あなたの興味や関心を大切にしてください。どの学部を選ぶのか、迷うことも自分の可能性や将来について考えることにつながります。島根大学では7学部それぞれが、特色のある学びを展開しています。

教育哲学

教育方法学

学校・学級経営

ICT活用教育

グローバル教育

小学校教育

国語科教育

社会科教育

理科教育

保健体育科教育

音楽科教育

美術科教育

家庭科教育

技術科教育

幼児教育

地域教育コーディネーター



教育学部

日本語中国語

英米語ドイツ語フランス語

哲学・芸術

日本史東洋史

社会学地理学

アーカイブズ学

刑法政治行政

企業法マネジメントフィールドワーク財政・金融

文化交流

西洋史考古学

文化人類学現代史

憲法民法

経済理論地域経済



法文学部

生活科学

運動科学

公衆衛生学

スポーツ

食品学

実験心理学

データサイエンス

心理療法

ソーシャルワーク

精神保健福祉

福祉社会文化

バイオメカニクス

社会心理学

障がい者福祉

生活習慣

家族心理学

学習心理学

ヘルスサイエンス



人間科学部

量子計算磁性超伝導

トポロジカル物質半導体新素材デバイス分析化学無機化学有機化学

物理化学環境化学工業化学

地下資源地球環境地層化石

活断層土質代数学

複素解析学統計科学現象数学

データサイエンス情報システム

人工知能(AI)大規模言語モデル(LLM)力学設計制御計測光通信

信号処理建築構造住環境建築計画都市計画建築歴史・デザイン



総合理工学部



島根大学の研究ラインナップ

高校で学習する教科・科目から、島根大学の教員の研究を覗いてみる冊子です。大学について、「何を調べたいんだろう?」「どうやって調べたいんだろう?」と思っている人は、自分の好きな教科・科目をのぞいてみてください。



基礎医学社会医学

臨床医学

医学研究医療倫理

医学英語地域医療

健康相談

環境保健

多職種連携看護研究

臨床能力

医療安全チーム医療

看護理論看護実践

ライフサイクル

多様な健康課題



医学部

マテリアルエネルギー金属材料複合材料情報理論

セラミックスバイオマテリアル

カーボンニュートラル

アントレプレナーシップ

プログラミング

情報通信技術

材料加工新素材開発燃料電池ドラッグデリバリーシステム合金状態図地方創生

機能性材料インフォマティクス

超音波計測有機材料無機材料

計算科学データ解析

情報セキュリティ

リサイクル工学



材料エネルギー学部

生物多様性一陸の豊かさを守るー細胞生物水圏生態系一海の豊かさを守るー

基礎生物学から科学リテラシーへバイオテクノロジー

遺伝子食と健康・栄養

作物栽培食糧生産

マーケティング

森林資源管理

植物科学ICT農林業

生体分子の働き農業

畜産園芸品種改良

地域活性化林業

自然環境フィールド教育

中央湖の生態系

微生物による水浄化山の樹木と土と水流域の生物と水と土の保全

耕地の土と水作物と微生物エンジニアリングデザイン



生物資源科学部

法文学部 ————— P15

- ・法経学科
- ・社会文化学科
- ・言語文化学科

教育学部 ————— P19

- ・小学校教育専攻
- ・特別支援教育専攻
- ・国語科教育専攻
- ・英語科教育専攻
- ・社会科教育専攻
- ・数学科教育専攻
- ・理科教育専攻
- ・家庭科教育副専攻
- ・技術科教育副専攻
- ・保健体育科教育専攻
- ・音楽科教育専攻
- ・美術科教育専攻

人間科学部 ————— P23

- ・人間科学科
- 身体活動・健康科学コース
- 心理学コース
- 福祉社会コース

医学部 ————— P27

- ・医学科
- ・看護学科

総合理工学部 ————— P31

- ・総合理工学科

※令和7年度設置申請中であり、変更の可能性あります。

材料エネルギー学部 — P35

- ・材料エネルギー学科

生物資源科学部 ————— P39

- ・生命科学科
- ・農林生産学科
- ・環境共生科学科

法文学部

Faculty of Law and Literature



島根大学法文学部は、法経・社会文化・言語文化の3学科からなり、人文・社会科学の諸分野を網羅する山陰地方唯一の文系総合学部です。本学部が所在する山陰地方は、古代出雲に連なる豊かな歴史と伝統を受け継ぐ地域ですが、他方で広大な中山間地域を抱え、過疎化と高齢化に伴う様々な問題にも直面しています。こうした地域社会の文化や課題に学問的に向き合うだけでなく、これらをテーマに、一人ひとりの学生が、創造的で実践的な能力を備え、現代社会の様々な場面で活躍できる人間として成長していくことをめざしています。



1 地域をフィールドに実践的な教育

少子高齢化が進む山陰地域は、これからの日本を先取りした社会・経済課題や、古代から続く歴史と伝統文化に直に触れることのできる地域です。座学だけでは得られない、現実を五感で学ぶフィールドワークを通じ、実践的な力を身につけます。



2 国内・海外での学びを積極的に支援

山陰での学びにとどまらず、琉球大学への国内留学や海外協定校（中国、韓国、ヨーロッパ、アメリカ）への留学など、各種留学プログラムや研修制度を通じて海外から日本や山陰地域を見直す機会を提供するとともに、受け入れた多くの交換留学生との交流を支援しています。



3 将来を見据えた社会人力の強化

卒業後の進路を見据え、4年間を通じて学生のキャリア形成を支援する「キャリアアゲート制」を実施しています。1・2年次にはキャリアプランニングを通じ将来を考え、3・4年次からは公務員・企業・教職・司法・専門職の各ゲート講座を履修し、多様な実務経験者の指導の下、希望の職種に就くための知識と実力を磨きます。



法文学部

法経学科（定員76名）

- 法学コース
- 司法特別コース
- 経済学コース

社会文化学科（定員47名）

- 現代社会コース
- 歴史と考古コース

言語文化学科（定員52名）

- 日本語文化研究室
- 中国言語文化研究室
- 英語言語文化研究室
- ドイツ言語文化研究室
- フランス言語文化研究室
- 哲学・芸術・文化交流研究室

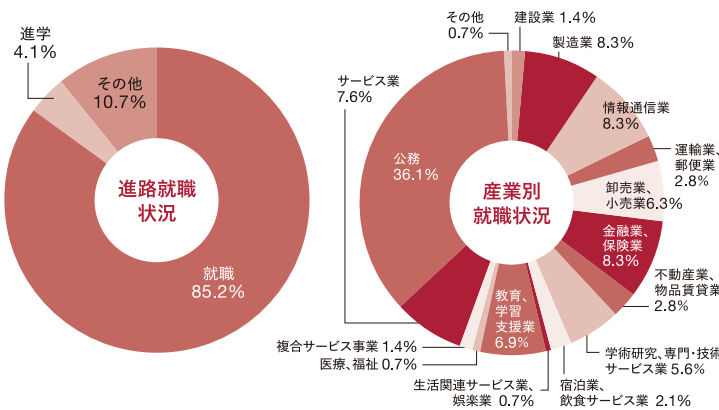
大学院 人間社会科学研究科

社会創成専攻（15名）

- 法政コース
- 人文社会コース
- 地域経済コース
- 健康・行動科学コース

臨床心理学専攻（10名）

進路・就職



■主な就職先（令和6年3月卒業生）

岡山大学、かんぽ生命保険、紀伊國屋書店、京都銀行、埼玉県埋蔵文化財調査事業団、システムバンク、清水銀行、信州大学、ソニーコンシューマース、鳥取銀行、中電プラント、トマト銀行、西日本鉄道、広島銀行、マイナビ、みずほ銀行、三菱電機ビルソリューションズ、横河レンタ・リース、リコーITソリューションズ
鳥取県公立学校
警視庁、国税庁、岡山地方税務局、鳥取地方税務局、財務省神戸税関、神戸地方裁判所、特別区（東京23区）、大分県警察、広島市役所
【地元企業等】
出雲村田製作所、一条工務店、サクラサクセス、山陰ケーブルビジョン、山陰合同銀行、島根トヨタグループ、生活協同組合しまね、ミック
島根県公立学校
出雲市役所、島根県警察、島根県庁、浜田市役所、松江地方税務局、松江市役所

■主な進学先（令和6年3月卒業生）

島根大学大学院、広島大学法科大学院、岡山大学大学院、お茶の水女子大学大学院、名古屋大学法科大学院
*順不同。就職先・進学先には大学院修了者を含まない。





法経学科

取得可能な資格 ●高等学校教諭一種免許状(公民)
●中学校教諭一種免許状(社会) ●学芸員

法経学科では、法学と経済学の両面から、変化する現代社会について学びます。私たちが暮らす地域社会は急速なグローバル化の進展とともに、多くの課題を抱えています。また、市民生活という点でも、基本的人権にかかわる問題がますます重要性を高めています。法経学科は、これらの課題解決に必要とされる知識と応用力を身につけ、分析能力・政策立案能力や問題処理能力を養います。



■ 3つのコース

法経学科には3つのコース(「法学コース」「経済学コース」「司法特別コース」)があり、3年次に希望するコースを自由に選ぶことができます。1・2年次はコースに関わらず、法学と経済学の基礎を万遍なく学び、3年次以降、「法学コース」の学生は法学を、「経済学コース」の学生は経済学を中心に学びます。また「司法特別コース」は、法科大学院(ロースクール)への進学や法律専門職を目指す学生のために設けられています。

■ 入門演習

法経学科1年生は、全員、10数名ずつに分かれて「入門演習」に所属し、教員と一緒に基礎的な研究方法等を学びます。また、この演習では、図書館講習をはじめ学内施設の利用の仕方を学び、大学生活を健康でアクティブに送る方法を体得します。さらに、活動の場は学内にとどまらず、松江地方裁判所や日本銀行松江支店の見学にも出かけます。このように、初年度の間に法律学と経済学の学び方のイロハを身につけていきます。



社会文化学科

取得可能な資格 ●高等学校教諭一種免許状(地理歴史、公民)
●中学校教諭一種免許状(社会) ●学芸員

社会文化学科では、社会、歴史、そして文化について、調査や実習等を通じて体系的かつ体験的に学ぶことを重視します。学生の皆さんは1年生の後期から、現代社会コース、歴史と考古コースに分かれてそれぞれ専門分野について学びつつ、多様な視角から論理的に物事を考えて分析し、自らの考えを説明する力の習得を目指します。



■ 現代社会コース

人間の行動や活動、家族や地域等の身近な社会からグローバルな社会、私たちの生活環境、そして民俗や伝統、文化についての問題を、社会学・地理学・文化人類学の立場から考え説明する力を身につけることを目指します。どの学問分野を主軸として学ぶにせよ、講義を聴いたり専門書を講読したりすることに加え、社会調査やフィールドワーク等の実習を通して、データ収集と分析方法を実践的に習得することができます。

■ 歴史と考古コース

歴史と考古コースは、歴史学と考古学の2分野からなります。歴史学では、日本史・東洋史・西洋史・現代史について専門的に学びます。考古学では、日本列島を中心に東アジアを対象に学びます。幅広い視野から歴史学・考古学を学ぶことによって、理論と実地調査に関する認識を培うことを目指しています。研究室は学生によって自主的に運用されており、テーマを選んで主催される自主ゼミのほか、研修旅行等も毎年企画しています。



言語文化学科

取得可能な資格 ●高等学校教諭一種免許状(国語、英語)
●中学校教諭一種免許状(国語、英語) ●学芸員

言語文化学科では、東洋・西洋の言語文化について古代から現代まで幅広く学ぶことができます。学生の皆さんは2年次以降、所属する研究室を自由に選べます。自分が興味を持つ事柄を深く学びながら、論理的に思考を表現する力を身につけ、表現力や語学力を高めていきます。



■ 6つの研究室

〈日本語文化研究室〉歴史、文法、音韻、方言など、日本語について様々な面から学ぶとともに、物語、和歌、小説など、古代から現代に至る文学作品を詳しく学びます。

〈中国言語文化研究室〉神話や甲骨文字の時代から現代に至るまで、テキストを原文で読み、直接中国の言葉や文学、そして背景にある文化や思想を学びます。

〈英米言語文化研究室〉イギリスやアメリカの文学作品の鑑賞はもちろん、日米文化の比較や英語の分析も行い、さらには英語でのコミュニケーション能力の向上も目指します。

〈ドイツ言語文化研究室〉中世から現在における、スイス・ドイツ・オーストリアにわたる豊かなドイツ文化について学び、ドイツ語の運用能力も身につけます。

〈フランス言語文化研究室〉フランスの文芸作品やフランス語の特性など、フランスの言語文化を、異なる言語文化圏と比較しながら学びます。さらに、フランス語の運用能力も身につけます。

〈哲学・芸術・文化交流研究室〉哲学・芸術・文学・映画・音楽などの文化活動や、人間がさまざまな場面で織りなすコミュニケーションを研究し、文化を理解するための視点と技術を身につけます。

研究室紹介 地理学研究室

■ 教員の声

地域社会を読み解く

本学では地域志向型入試が導入され、地域活性化について関心のある学生が増えてきました。地域を活性化するためには、まず、地域の政治・経済・社会・文化・歴史などの特徴を分析し、地域を俯瞰的に捉える能力が必要となってきます。研究室では、講義や演習を通じて、日本や世界の地域の多様性を学ぶ視点や、多様で複雑な地域社会を分析する方法論を学ぶだけでなく、学生の出身地以外の都道府県へ毎年フィールドワークに出かけ、学生自身が調査テーマを設定し、調査計画を立て、報告書をまとめて、地域社会の特徴を読み解く能力を身につけています。



社会文化学科 教授
船杉 力修

■ 在学生の声

地域を知ることの楽しさ

私は地域の観光やまちづくりに興味があり、地理学研究室を選びました。地理学実習ではフィールドワークを行い、その地域でしか見ることのできない景観やその場所では聞くことのできない話など、机上の調査だけでは分からない学びを得ることができます。また、授業で初めて訪れる地域もあり、そこで新しい発見ができることも自分の足で調査をする楽しみのひとつです。



社会文化学科 4年
加納 里彩

■ 卒業生の声

多様な地理学の世界

地形や地名、建造物、表札など…。地理学のプロである先生方と街を歩くと、それまでとは違う視点から世界を覗き見することができます。専門的な知識や技術もですが、こうした地域を見る目は卒業・進学後も大いに役立っており、人生を豊かにしてくれていると感じます。皆さんが一番好きなものを是非地理学で深めてみて下さい。そのための設備や環境はこれ以上ないほど整っています。



社会文化学科
2022年3月卒業
木戸 真之

教育学部

Faculty of Education



島根大学ではもっとも古く、前身の師範学校から数えると、150年近い歴史のある教育学部は、山陰地域で唯一の「教員養成に特化した学部」として、「これからの教育を創造していく教師」の育成に力を注いでいます。小・中(高等)学校免許の取得に加え、幼稚園や特別支援学校の免許プログラム、学校と社会をつなぐ社会教育士特別プログラム等を整備し、学校教育を俯瞰的に学ぶカリキュラムを用意しています。独自の「1000時間体験学修」に加え、島根・鳥取両県の教育委員会と連携し、現職教員や教職大学院生とともに学ぶことのできる、高度な実践学修のための環境整備も行っています。



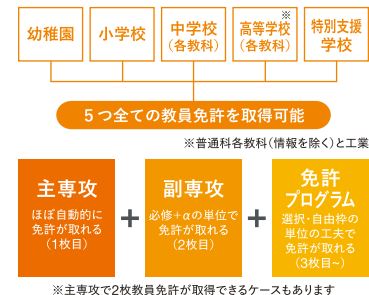
1 ここにしかない学び「1000時間体験学修」

教育的体験ならびに実践的体験を「理論と実践の往還」の観点から組織的かつ効果的に行う、本学部独自の教育プログラムです。



2 複数免許の取得が容易な学びのしくみ

現在の学校では、複数の教員免許(教育職員免許状)を持つ教員が求められています。本学部では、複数免許の取得が容易な学びのシステムを用意しています。



3 地域とともに地域に根ざした教育活動

学外に飛び出して行う授業、地元の伝統行事や祭り、まちづくり、ボランティアなど、本学部では実践的な活動を通じて得られる学びを大切にしています。



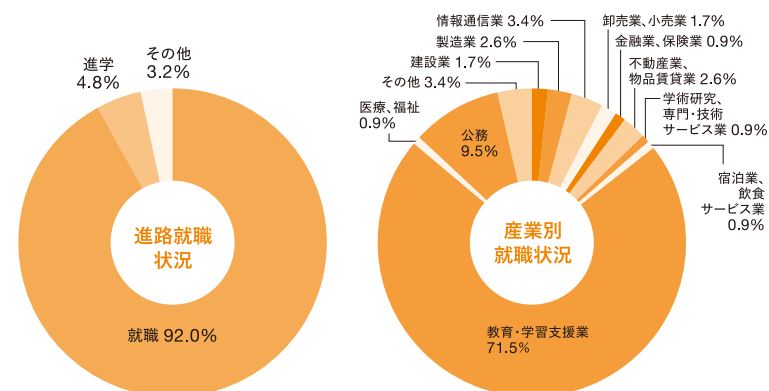
教育学部

- 学校教育課程(定員130名)
- 小学校教育専攻
 - 特別支援教育専攻
 - 国語科教育専攻
 - 英語科教育専攻
 - 社会科教育専攻
 - 数学科教育専攻
 - 理科教育専攻
 - 保健体育科教育専攻
 - 音楽科教育専攻
 - 美術科教育専攻

大学院 教育学研究科

- 教育実践開発専攻(教職大学院)(定員20名)

進路・就職



■主な就職先 (令和6年3月卒業生)

【学校関係等】
(小学校) 鳥取県、広島県、岡山県、山口県、兵庫県、香川県、長崎県
(中学校) 鳥取県、広島県、岡山県、兵庫県、京都府
(高等学校) 鳥取県、岡山県、山口県、長野県、香川県、徳島県
(特別支援) 岡山県立健康の森学園、東京都
(幼稚園) 茨城県、兵庫県

【企業等】
大阪ガス都市開発、JR西日本アーバン開発、西日本電信電話、ニトリ、
俄、ミカサ、三菱UFJインフォメーションテクノロジー
広島市役所、三次市役所、鳥取市役所、鳥取県庁

【地元企業等】
浅利観光、出雲村田製作所、サクラサクセス
鳥根県庁、鳥根県警、松江地方事務局、松江市役所

■主な進学先 (令和6年3月卒業生)

島根大学教職大学院、広島大学教職大学院、岡山大学教職大学院
*順不同。就職先・進学先には大学院修了者を含まない。



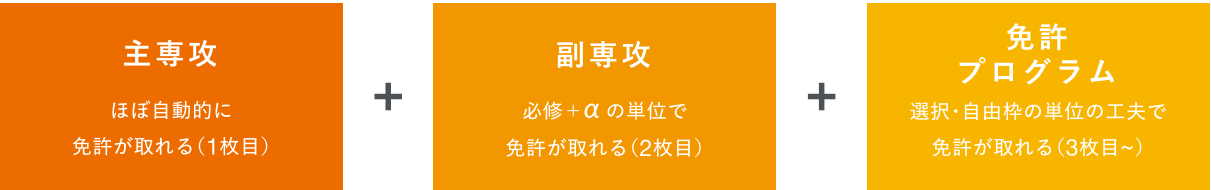
島根大学教育学部の教員免許取得のしくみ

皆さんはどの教育職員免許状（教員免許）が取りたいですか？



複数の教員免許が取得可能

島根大学教育学部では、卒業研究を通して深い学びを得られる「主専攻」に加え、幅広い知識と技能を得るために選択する「副専攻」、更に必要な校種の免許を取得する際に選択する「免許プログラム」を組み合わせることで3枚以上の免許を取得できるしくみを用意しています。



※主専攻で2枚教員免許が取得できるケースもあります

「小・中免許併有」のしくみで98%の卒業生(令和4年度)は2枚以上の教員免許を取得しています。教員採用試験の際に加点されるなど、複数の教員免許の保有は教員採用時に有利です。

中学校の教員免許を複数取得できます。高等学校の教員免許も必要な単位を修得することで取得可能です。

主専攻・副専攻のどちらかを中等系(各教科)、もう一方を初等系としており、小学校・中学校の免許2枚の取得を目指します(小・中免許併有)

各専攻での学びはこちらから



主専攻	取得可能な教員免許	+	副専攻	取得可能な教員免許	+	免許プログラム (オプション)	+	特別プログラム (オプション)		
初等系 小学校教育専攻	・小学校一種	+	中等系 国語科教育専攻	・中学校(国語) ・高等学校(国語)	+	特別支援 免許プログラム	+	心理学 特別プログラム		
初等系 特別支援教育専攻	・小学校一種 ・特別支援学校一種		中等系 英語科教育専攻	・中学校(英語) ・高等学校(英語)						
中等系 国語科教育専攻	・中学校(国語)一種 ・高等学校(国語)一種 ・ 免許プログラム 高等学校(普通)		中等系 社会科教育専攻	・中学校(社会)						
	中等系 英語科教育専攻		・中学校(英語)一種 ・高等学校(英語)一種	中等系 数学科教育専攻					・中学校(数学) ・高等学校(数学)	
中等系 社会科教育専攻			・中学校(社会)一種 ・ 免許 高等学校(地理歴史) ・ プログラム 高等学校(公民)	中等系 理科教育専攻		・中学校(理科) ・高等学校(理科)			幼稚園 免許プログラム	
中等系 数学科教育専攻	・中学校(数学)一種 ・高等学校(数学)一種		中等系 保健体育科教育専攻	・中学校(保健体育) ・高等学校(保健体育)						
中等系 理科教育専攻	・中学校(理科)一種 ・高等学校(理科)一種		中等系 音楽科教育専攻	・中学校(音楽) ・高等学校(音楽)		技術科 免許プログラム ・中学校(技術) ・高等学校(工業)		社会教育士 (地域教育コーディネーター) 特別プログラム		
中等系 保健体育科教育専攻	・中学校(保健体育)一種 ・高等学校(保健体育)一種		中等系 美術科教育専攻	・中学校(美術) ・高等学校(美術)						
中等系 音楽科教育専攻	・中学校(音楽)一種 ・高等学校(音楽)一種		中等系 家庭科教育副専攻	・中学校(家庭) ・高等学校(家庭)						
中等系 美術科教育専攻	・中学校(美術)一種 ・高等学校(美術)一種		初等系 小学校教育専攻	・小学校						

※書道、及び地理歴史・公民の免許プログラムは当該主専攻に所属する学生のみ対象。

※各免許状は所定の単位を修得することで一種または二種免許状の取得が可能。

※複数選択可能。

※複数選択可能。



在学生向け
「現在募集中の活動」
ページへ



「理論と実践」の往還を実現

学校教員に求められる「教育実践力」は、大学における理論的な学修によってのみ身につくものではありません。子どもとの直接的なふれあいなど、多様な実践の経験によって「理論と実践」を統合し、修得するものです。本学部の「1000時間体験学修」は、さまざまな地域・教育活動に取り組む「基礎体験」、教育実習やカウンセリング、演習などを中心とした「学校教育体験」を積み上げながら、教員として必要な実践力を獲得していきます。全国に先駆けて始めたこの教員養成プログラムは、20年に及ぶ実績とノウハウを蓄積し、学生の皆さんをサポートします。

1000時間体験学修のしくみ

基礎体験領域 640 時間		+	学校教育体験領域 360 時間	
セミナー、 介護等体験など 必修 100 時間	基礎体験活動 専攻での活動など 選択必修 340 時間 自由選択 200 時間		学校教育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ、 学校教育実践研究Ⅰ・Ⅱ 必修 300 時間	臨床・ カウンセリング体験 必修 60 時間

教育体験活動 1000 時間

※卒業要件は800時間。1000時間に達した場合は「1000時間体験活動認定証」授与。

人間科学部

Faculty of Human Sciences



健康科学・心理学・社会福祉学という3つの学問分野を核として、人間という存在に学問領域を越えてアプローチしていきます。多様な視点に基づく人間理解を通じて地域社会に生きる人間が抱える、身体的・心理的・社会的な多様な問題のありかを科学的に検討し、その解決策(統合知の編み出し)を実践的に模索していく、地域社会に実践的に関わる(人間力を発揮する)ことのできる人材育成をめざしています。



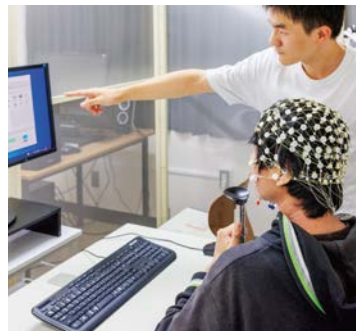
1 「からだ」、 「こころ」、 「つながり」

人間科学部は、「からだ」を守る身体活動・健康科学コース、「こころ」に学ぶ心理学コース、「つながり」を作る福祉社会コースという3つのコースが設置されています。



2 人間を多様な視点から 文理融合的に 見つめる

人間科学部では、地域社会に生きる人間をとらえる広い視野を養うために、社会学から医学に至るまで、さまざまな視点による豊富な学部共通科目が用意されています。



3 地域社会に実践的に 関わることのできる 人材育成をめざす

各コースの学問分野に応じて、実際に地域社会のさまざまな現場に出かけて、地域のリアルに直接触れる実習・演習形式の「地域実践展開」科目が多数用意されています。



人間科学部

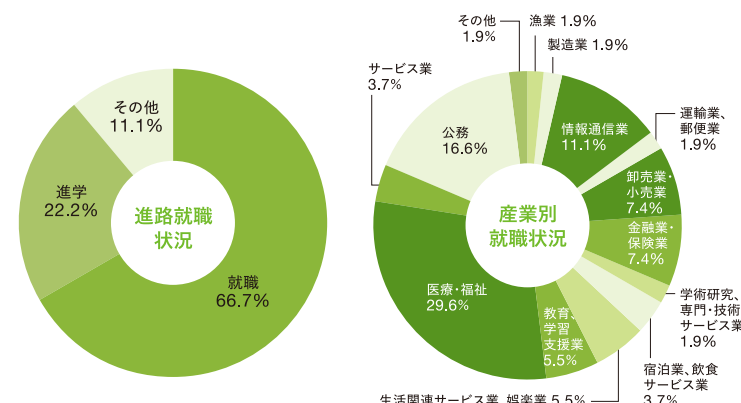
人間科学科(1学科3コース 定員80名)
■身体活動・健康科学コース(約20名) ■心理学コース(約35名) ■福祉社会コース(約25名)

大学院 人間社会科学研究科

社会創成専攻(15名)	臨床心理学専攻(10名)
■法政コース ■人文社会コース ■地域経済コース ■健康・行動科学コース	



進路・就職



■主な就職先 (令和6年3月卒業生)

エディオン、大分県厚生連鶴見病院、おかやま信用金庫、沖縄明治乳業、倉敷中央病院、久留米大病院、ダスキン、ソルハグループ、東京海上日動火災保険、ドラッグ&ファーマシー西日本、長崎大学、奈良県立医科大学附属病院、西日本電信電話、ビックカメラ
鳥取県庁、舞鶴市役所、さぬき市役所
【地元企業等】
さんびる、島根銀行、島根県社会福祉事業団、島根大学医学部附属病院、ホテル一畑、松江赤十字病院
島根労働局、島根県庁、島根県警

■主な進学先 (令和6年3月卒業生)

島根大学大学院、広島大学大学院、金沢大学大学院、名古屋大学大学院、兵庫教育大学大学院
* 順不同。就職先・進学先には大学院修了者を含まない。



身体活動・健康科学コース

取得可能な資格

●社会福祉主事

身体活動・健康科学コースでは、スポーツ分野、医学分野、生活科学分野などの幅広い専門領域の教員を擁しており、「健康」を幅広い視野から学ぶことができます。特に、島根県の地域住民の健康を支える「ヘルスケアビジネス」の創出に力を入れています。



■労働衛生学（労働と健康）

働く人々の心身の健康と安全を守ることは、人々の生活基盤を維持する上で非常に重要です。産業衛生は、将来にわたって労働を行うすべての人が考えていくべき分野です。「労働衛生学（労働と健康）」という授業では、労働環境の事例を取り上げ、現代の人と社会にあった労働様式を考えるための基礎的な法体系や各企業での取り組みなどについて、単に講義を受けるだけでなく、演習・実演として作業環境測定やストレスチェックなどの実体験も行っています。



心理学コース

取得可能な資格

●認定心理士（日本心理学会認定）
●社会福祉主事

実験心理学分野では、実験や調査を駆使して、人の心の働きや仕組みを科学的に明らかにします。臨床心理学分野では、人の心の働きについて、人間がそれぞれの発達段階に応じて直面する様々な悩みや困難を理解し、有効な心理的な援助の方法を探ります。



■心理学実験演習Ⅰ

心理学コースでは、1年生後期から心理学実験を体験できる授業を設けています。この授業では、学生自身が実験者や実験参加者の役割を担い、有名な心理学実験の追試を行います。目に見えない「心」を科学する手法を学び、心理学研究の基礎を身に着けます。収集した実験データをグラフや表にまとめ、科学論文形式のレポートを執筆するトレーニングを行います。多くの実験やレポートをこなすので、なかなか大変な授業ですが、「突き詰める楽しさ」を味わえる授業でもあります。



福祉社会コース

取得可能な資格

●社会福祉士 ●精神保健福祉士
●社会福祉主事

困難のある人にかかわり、つないでいく社会福祉実践をソーシャルワークといいます。福祉社会コースでは社会福祉学を中心に、ソーシャルワーク専門職（社会福祉士・精神保健福祉士）としての価値・理論・技術を体系的に身につけていきます。



■精神障害リハビリテーション論

精神障がいのある人のリハビリテーションで目指すのは、症状や障がいの軽減・消失だけでなく、本人の可能性を最大限に活かした新しい人生の構築（リカバリー）です。「精神障害リハビリテーション論」の講義では、リカバリーのための多職種による連携・協働を軸に、リカバリープラン作成に必要な理論や具体的な方法について学びます。教員の話や座学だけでなく、グループで事例検討をしたり、調べ学習をして発表したり、学生の主体的で相互的な学びの機会を設けています。



ゼミ紹介 臨床心理学ゼミ

■教員の声

心の深層を共に学ぶ

臨床心理学は悩みを抱える個人を支援する実践の学問です。実際の臨床事例を理解する視点は1つではなく、カウンセラーは心の表層から深層まで幅広く見据える多様な視点をもつことが重要です。また、カウンセラー教育では、自らの個性を発展させることも重要です。高見ゼミでは、神話や物語といった心の深層の他、それぞれが関心のあるテーマを持ちより、多様な視点からディスカッションを行います。個性の違いを大事にしながら互いに学び合いつつ、人間の心の深層について理解を深めていきます。



人間科学科 准教授
高見 友理

■卒業生の声

多角的な観点で学べる

このゼミの一番の魅力は、先生はもちろん、大学院生の方々とゼミをする機会があるところです。そのなかで、自分の卒業研究の研究計画を様々な視点からの意見や所感を聞くことができるため、考えるポイントが明確になりました。よって、その指摘に関する先行研究を調べたり、研究方法についても考えたりすることでより研究を深めることができました。また、実際のケースについて考える機会もあるため、考えを伝えたり聞いたりすることで臨床的な知識を得たり、自分の見立てを伝える練習をしたりすることもできました。



心理学コース
2023年3月卒業
石川 あかね

医学部

Faculty of Medicine

医学部では、「人を見つめ 地域と世界を見つめ 未来につなげる」を信条に人を育てることに熱心な教員陣が医学教育を行っています。入学後の早期から患者さんや医療者が参画した授業や倫理教育を積極的に行い、「プロフェッショナリズム(卓越性・人間性・説明責任・利他主義)」を有する医療人の育成を目指しています。主体的な問題解決能力や自己研鑽能力の修得を図るために、アクティブラーニングやPBL(問題解決型学習)を導入しています。



1 人を見つめ

リサーチマインドの涵養(かんよう)のため、研究室配属を実施しており、講座教員の指導のもとで基礎研究や臨床研究の基本を学ぶことができます。また、質の高い教育を提供するために、「医学教育プログラム委員会」を設置し、常にプログラムの検証と改善に努めています。



2 地域と世界を見つめ

離島・中山間地における地域医療が抱える課題を理解し、地域医療への動機付けや意欲の向上を目的とした授業や実践的な地域医療実習に取り組んでいます。医学科の臨床実習、看護学科の臨床実習は県内の様々な医療機関で行います。



3 未来につなげる

英語コミュニケーション能力と国際的視野を備えた「地域と世界に貢献できるグローバルな医療人」の育成を目指した英語教育を展開しています。より英語力向上を目指す学生を対象に「アドバンスト・イングリッシュスキルコース」を開講し、海外研修の機会も積極的に提供しています。



医学部

医学科 (定員102名)
※令和6年度臨時定員増12名を含む

学士入学 (2年次編入学) 定員5名、
(3年次編入学) 定員5名

看護学科 (定員60名)

大学院 医学系研究科

博士課程 医科学専攻 (定員30名)

■研究者育成コース ■がん専門医療人育成コース
■高度臨床医育成コース ■総合診療・地域医療コース

修士課程 医科学専攻 (定員15名)

■総合医科学コース ■がん専門薬剤師養成コース
■地域医療支援コーディネータ養成コース
■医療シミュレータ教育指導者養成コース
■地域包括ケア人材養成コース (医療経営重点)

博士後期課程 看護学専攻 (定員2名)

■超高齢看護学

博士前期課程 看護学専攻 (定員12名)

■看護援助学コース ■看護管理学コース ■がん看護CNSコース
■地域・在宅看護学コース ■母子看護学コース ■老人看護CNSコース
■がん・成人看護学コース ■高齢者看護学コース ■助産学コース

医学部附属病院



『地域医療と先進医療が調和する大学病院』

県内唯一の大学病院として「地域医療と先進医療の調和」を礎に、医療人育成、高度医療提供、臨床研究を推進しています。地域の中核病院に相応しい安全で安心な医療提供体制を構築し、高度化する医療に対応するために診療科を超えた組織横断的で柔軟な診療体制を整えています。一方、病院医学教育センターなどの教育に特化した部門も設置し、卒前・卒後教育の充実を図っています。

Facilities



医学科

医学科では「地域に根差し、地域社会から世界に発信する個性輝く大学」を目指す島根大学の理念と医学部の使命に基づき、国際的視野に立った豊かな教養と高い倫理観を備え、かつ、科学的探求心に富む人材の養成と、医学の向上を目的として教育研究及び医療を行うとともに、その成果をもって地域社会の発展に寄与し、人類の福祉に貢献し得る高度専門職業人を養成します。ディプロマ・ポリシーを達成するための到達目標を示し、それに応じた段階的なカリキュラムを展開しています。

教育課程

医学科の教育課程は、〔全学基礎教育科目〕と〔専門教育科目〕で構成されます。〔専門教育科目〕は、専門基礎科目、基礎医学系、臨床基礎医学系、社会医学系、臨床医学系および特別系に分類されます。なお、医学英語教育をはじめ、6年間一貫した医学教育を実施しています。

基礎医学と臨床医学が結びついた6年間一貫したコース構築

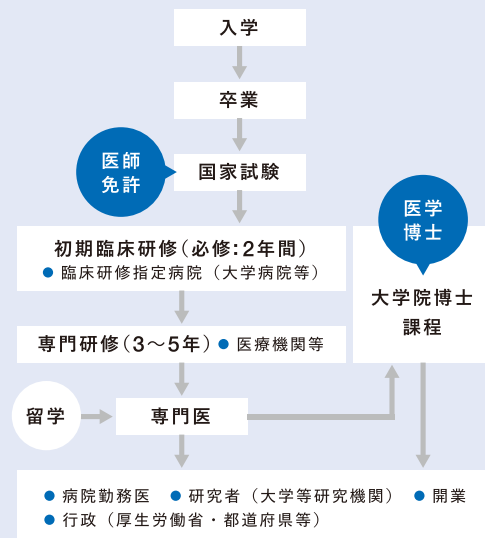
- ① 1年次から地域医療への貢献についての動機付けを図り、地域医療体験実習を実施します。
- ② 英語教育は1年次から6年次まで6年間一貫して実施し、医学英語の基礎から実践的な語学力向上を図ります。
- ③ 「医学研究の基礎」により、早期から研究について理解を深めるとともに、研究体験を通じて、科学的かつ理論的な思考力を身につけます。

5～6年次に実施する診療参加型臨床実習

指導医の指導のもと Student Doctor として実際の医療を体験し、医師になるための基本的な臨床能力を修得します。この実習は、医学部附属病院で行うほか、県下約70の診療所・病院等で実施します。実際に地域に出て現場を体験することで、より実践的なプライマリ・ケアと地域医療の基本を学びます。

未来を拓く医学の道

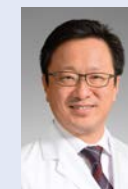
平成16年度から卒後臨床研修が必修化されたことに伴い、卒業後は大学附属病院または厚生労働省認定臨床研修指定病院において、2年間の卒後臨床研修を行います。本学医学部附属病院では、県内関連病院と協力して2年間のスーパーローテイト方式による臨床研修を行い、幅広い知識と技術を習得し、医師としての高い倫理観、責任感を備えた臨床医を育成します。卒後臨床研修終了後は、本学の大学院に進学し、基礎医学あるいは臨床医学研究の深奥を極める人もいます。



講座紹介

内科学講座内科学第一（内分泌代謝内科）

甲状腺、副腎、下垂体などの疾病や糖尿病とその合併症を特に専門としています。授業では、疾病の歴史的なエピソードを交えて学生の様々な興味を刺激したり、疾病を抱える人々に対して医師が備えるべき心構えを学ぶ機会も提供しています。



医学科 教授 金崎 啓造

- 専門分野
糖尿病、糖尿病性腎症、内分泌代謝疾患、肥満・高血圧・老化に関連する慢性腎臓病
- 研究テーマ
糖尿病、糖尿病性腎症、糖尿病とがん、妊娠高血圧腎症

看護学科

看護学科では、生涯にわたって看護専門職としてキャリアを積み上げていくための基盤となる「看護実践能力」の育成に力を注いでいます。健康の保持・増進～病気からの回復～エンドオブライフ等、様々な健康レベルの人々に適切な看護を提供するための基本的な知識と技術の修得を目指します。また、保健・医療・福祉・教育等の分野における様々な専門職と協働できるよう、広い視野と豊かな人間性を育むことを大切にしています。

教育課程

大学生としての豊かな教養を身につけながら、病気を患う人の看護はもちろん、地域で暮らす人々の健康を高める看護も含めて、あらゆる人々を対象とする看護学を4年間通して学べるようにカリキュラムを組んでいます。卒業時には全員が看護師の国家試験を、保健師コース選択者は保健師の国家試験も合わせて受験することができます。

人々の命と生活を支える看護実践能力を育む

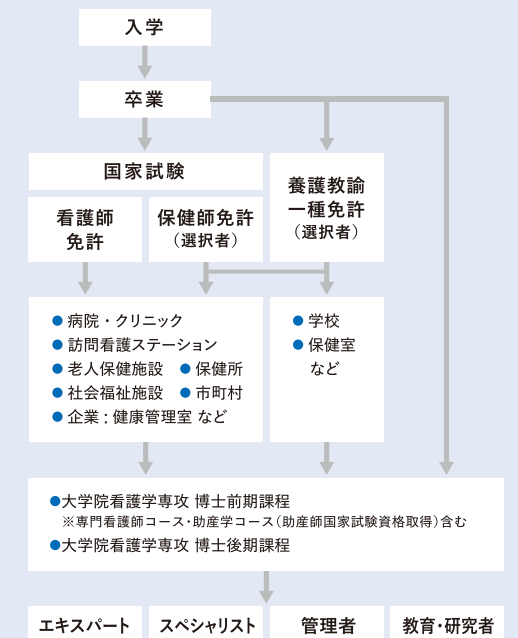
1～2年次には看護学の基本となる人間の理解、ケアの倫理、基礎的な医学知識、科学的根拠に基づいた看護実践の方法等について学習します。2年次後期から、慢性疾患や重症者のケアなどを学ぶ成人看護学、人間の成長発達に伴って健康を支える小児・母性・老年看護学、心の健康を支える精神看護学、生活の場で健康を支える在宅・地域看護学など、看護の専門領域に焦点化した学習を進めていきます。4年次には学習の集大成として「卒業研究」に取り組みます。

仲間とともに看護観を深める

実習は段階的に組み込まれており、1年次には地域の対象者を捉える実習を、2年次は病院での基礎実習を、3～4年次には様々な看護現場で専門領域の実習を、最後に総合実習を行い、看護観を形成し深めていきます。

未来を支える看護の道

看護師・保健師・養護教諭一種(選択)の免許・資格を活かし、大学附属病院等の病院、保健所等の行政機関、学校等で活躍しています。助産師の免許取得のため、また実践力・研究力を高めるために大学院に進学する人もいます。



講座紹介

早期地域看護学実習

早期地域看護学実習は、健康な地域づくりの視点を持った「地域に強い看護職」の土台づくりを行う実習です。地域の文化を学び、地域のひととの交流を行い、ディスカッションしながら、みんなで人々の暮らしや環境と健康の関連を考える科目です。



看護学科 教授 伊藤 智子

- 専門分野
地域看護学・公衆衛生看護学
- 研究テーマ
介護予防に関する研究
※ 早期地域看護学実習は教員全員が担当

総合理工学部

※令和7年設置申請中であり、変更の可能性があります。



Interdisciplinary Faculty of Science and Engineering

次世代の分野融合による科学技術のイノベーションに対応する幅広い視野を持ち、様々な社会的課題に対して自らアプローチし、深く幅広い専門知識を活用しながら課題の解決に向かって取り組むことが出来る高度理工系教育を行います。



1 入学後に専門分野を選択・決定 (レイトスペシャリゼーション)

1年次には、全学基礎教育科目と理工共通基礎科目を学び、2年次に専門分野を決定します。これにより、理工学の各分野を理解してから、自分が真に興味のある専門分野を選ぶことができます。



2 学生が自ら履修設計する主体的な学び

各分野で求められる標準的な人材像を目指す「標準履修モデル」を提示します。学生は、それを参考に、幅広い総合理工学の専門科目から、主体的に自分の学びを設計することが可能です。



3 専門性を高め、幅広い知の融合とアントレプレナーシップを育成

専門教育と理工社会実装教育とを通して、高い専門性を修得すると同時に、幅広い視野を持ち合わせて様々な課題の解決に能動的に取り組むアントレプレナーシップ(社会実装の精神)を身に付けることが可能です。



総合理工学部

総合理工学科(定員370名)

- 理工研究者養成特別コース
- バイリンガル教育コース
- 学部・博士前期一貫プログラム

大学院 自然科学研究科(博士前期課程)

理工学専攻(定員79名)

- 先端材料工学コース
- 数理科学コース
- 知能情報デザイン学コース
- 物理・応用物理学コース
- 機械・電気電子工学コース

環境システム科学専攻(定員78名)

- 地球科学コース
- 物質化学コース
- 環境共生科学コース
- 建築デザイン学コース

農生命科学専攻(定員43名)

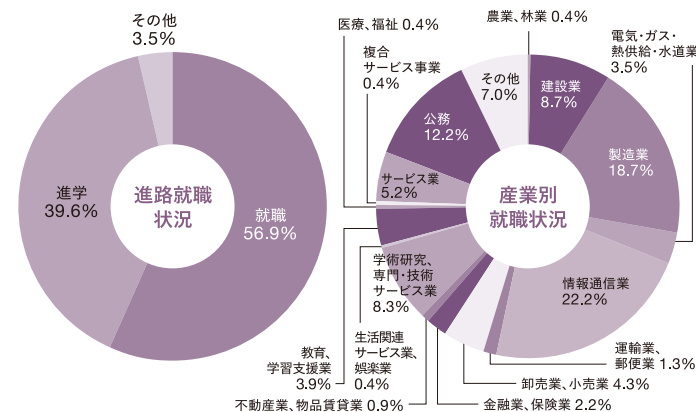
- 生命科学コース
- 農林生産学コース

大学院 自然科学研究科(博士後期課程)

創成理工学専攻(定員15名)

- 理工学コース
- 自然環境システム科学コース

進路・就職



■主な就職先(令和6年3月卒業生)

旭川信用金庫、アルプス技研、一条工務店、大林組、カチタス、グローリー、山陰酸素工業、シンワ技研コンサルタンツ、大日本ダイヤコンサルタンツ、タマホーム、中国電力、西川ゴム工業、西日本高速道路、ニチコン、日研トータルソーシング、ノーリツ、パナソニックロステクノロジー、東日本旅客鉄道、日立システムズエンジニアリングサービス、ビップフジモト、本田技研工業、ミサワホーム、三菱電機、三菱電機ソフトウェア、Minorityソリューションズ、ヤマダホールディングス、USEN-NEXT HOLDINGS、西電工、理研ビタミン、両備システムズ、YKK

鳥取県公立学校、広島県公立学校、岡山県公立学校、兵庫県公立学校、鳥取県公立学校、鳥取地方裁判所、鳥取県庁、広島県庁、鳥取市役所、広島市役所、大阪市役所

【地元企業等】

イーグリッド、出雲村田製作所、LPCグループ、キグチテクノス、島根県鑑工会、山陰ケーブルビジョン、山陰合同銀行、サン電子工業、島根富士通、JUKI松江、テクノプロジェクト、日本放送協会松江放送局、藤井基礎設計事務所、松江山本金属

島根県立学校、松江市役所

■主な進学先(令和6年3月卒業生)

島根大学大学院、信州大学大学院、金沢大学大学院、筑波大学大学院、静岡大学大学院、大阪教育大学大学院、九州大学大学院

*順不同。就職先・進学先には大学院修了者を含まない。





総合理工学科

※総合理工学部総合理工学科は、令和7年設置申請中です。
※教育の内容については変更することがあります。

専門の学問教育を重視しつつもその枠にとらわれることなく、自身が目標とする人材像に必要な知識や考え方を修得できるよう、従来の7学科を1学科(総合理工学科)に再編しました。社会で活躍する人材像を「3つの分野」に分類し、学生が主体的に選択・設計できる柔軟で幅広い教育カリキュラムを用意します。1年次で理工学の基礎を学んだ後に、2年次で分野を決定します。各分野、及びその境界領域での人材像に対応した教育の「標準履修モデル」が示され、それぞれの人材像に必要な専門知識と実践的な理工学の知識を身につけることができます。

先端ものづくり分野

物理学、化学、機械工学、電気電子工学などの学術分野を中心に、半導体・マイクロプロセッサ関連、ロボット工学・メカトロニクス、先端監視・センサー、蓄電池材料や物質創成など、先端ものづくり分野の技術者・研究者として活躍するための基盤を学びます。



自然環境・住環境分野

化学、環境科学、地球科学、建築学などの学術分野を中心に、脱炭素化・環境の分析と評価、再生可能資源、地球環境変動や自然災害への備え、住まいから都市までの建築デザインなど、持続的社会の実現に向けた技術者・研究者として活躍するための基盤を学びます。



数理データサイエンス・IT・デジタル分野

数学、情報科学などの学術分野を中心に、データサイエンス・データ分析、高度情報通信、情報セキュリティ、人工知能(AI)、機械学習など、次世代情報産業を支える技術者・研究者として活躍するための基盤を学びます。



取得可能な資格

- 中学校教諭一種免許状・高等学校教諭一種免許状(数学、理科)
- 高等学校教諭一種免許状(情報、工業)
- 学芸員
- 毒物劇物取扱責任者
- 危険物取扱者(甲種)受験資格
- 測量士補
- 一級建築士受験資格
- 二級建築士受験資格
- 木造建築士受験資格

人材像に対応する14の標準履修モデル

先端ものづくり分野の標準履修モデル

■電子物理工学

物理学を基礎として、固体物性、半導体工学、電子工学、先端エレクトロニクスなどを学ぶ。

■機械電気

機械工学、電気電子工学を中心に、ロボット工学、電磁波・光工学などを学ぶ。

■半導体応用システム

半導体工学、固体物理学、回路理論、制御工学など半導体とそのシステム応用の基盤を学ぶ。

■機能創成化学

蓄電池、太陽電池、発光素子(EL)、CO₂還元触媒、医薬品などの機能性物質の化学的基盤を学ぶ。

数理データサイエンス・IT・デジタル分野の標準履修モデル

■数理データサイエンス

数学の基礎を学び、論理的思考能力を養い、データサイエンスの知識・技能を修得する。

■数理機械学習データサイエンティスト

微分幾何、位相幾何、代数学などの現代数学と機械学習などの新しい技術を生み出す素地を学ぶ。

■ITスペシャリスト

コンピュータのソフトウェア及びハードウェア、情報理論、計算機科学、人工知能に関する基礎知識を学ぶ。

自然環境・住環境分野の標準履修モデル

■グリーンシステム科学

脱炭素(脱石油・石炭)、水素発生などの環境材料や再生可能資源利用、環境分析など持続可能な科学技術の基盤を学ぶ。

■地球資源環境・防災科学

地球のダイナミクス、資源、地球環境変動、古生物、そして自然災害など、地球環境の維持や活用に関する専門的知識・技術を学ぶ。

■環境保全科学

地球の環境と資源の保全・活用や防災の知識を身につけ、持続可能な開発技術の基盤を学ぶ。

■建築デザイン

建築デザインに関係する科目をバランスよく学び、建築士としての専門的知識・技術を修得する。

■防災配慮型建築

建築と地盤・防災に関係する科目を学び、構造設計に携わる建築士、技術士としての専門的知識・技術を修得する。

複数の分野にまたがる標準履修モデル

■環境データサイエンティスト

環境改善の化学と画像解析やIoTなどに関する基礎知識・データ解析を学ぶ。

■AIロボティクス

機械工学、制御工学、ロボット工学など機械・電気電子関係の知識とAI関連分野を合わせて学ぶ。



材料エネルギー学部

Faculty of Materials for Energy



2023年4月に島根大学初の工学部として開設した材料エネルギー学部では、エネルギー問題を材料から解決できる高度専門人材を養成するために、ユニークな学びをおこないます。「ものづくりの原点を学び、自分のアイデアをカタチにしたい」「IoTやAIなど情報スキルを駆使してデジタル社会で活躍したい」「自分の学びを地域で役立てたい」など、「あなたの夢を叶える学び」をご紹介します。



1 エネルギー問題の解決に寄与

材料エネルギー学部では、低環境負荷な素材や、素材の高性能化などの革新的な素材開発を目指す教育を行います。それによりエネルギー問題を理解し、材料工学分野の知識・技能を身につけ、新素材の研究開発を先導することができる人材を育成します。



2 データ駆動型材料開発 ～マテリアルズ・インフォマティクス～

コンピューターを用いた解析によって新しい材料を開発するのが、マテリアルズ・インフォマティクスです。データを活用することで、すぐれた機能を持った素材の開発を早く、そして正確に行うことができるだけでなく、製造の最適化を目指すことが可能になります。材料エネルギー学部では1年次からデータを活用した材料開発の手法『マテリアルズ・インフォマティクス』を学んでいきます。



3アントレプレナーシップ (大学の学びを社会に活かす)

本学の研究成果なども活用し、社会課題を解決するビジネスプランを提案します。未来の課題に粘り強く取り組み、デザイン力をもって創造的に解決策を見出す力を身につけます。材料エネルギー学部では研究成果をどう社会実装につなげていくか、学生と教員が共に創造するチャレンジをしています。



材料エネルギー学部

材料エネルギー学科(定員80名)

卒業研究と進路について

3年前期終了時に研究テーマを決定し、3年後期から研究を進めます。卒業研究について、3つのパターンから選択します。



令和9年 大学院設置予定

卒業後の進路

鉄鋼・金属素材関連・自動車関連・航空宇宙関連・化学素材関連・環境関連・化粧品関連・医療関連・エネルギー関連・AI・IoT関連など幅広い分野への就職が可能で、地域産業から世界まで、あらゆる場所で活躍できる人材を育成します。



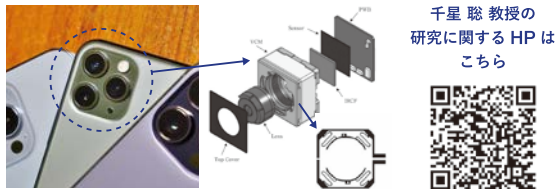
教員研究内容紹介

材料エネルギー学部では、先端金属材料、ナノ・機能性材料、バイオマテリアルといった広範な材料分野の研究者やデータサイエンスの専門家など、世界に誇れる教員がそろっており、金属材料に限らず、多様な研究に取り組めます。教員がどのような“材料”に関する研究を行っているかを知り、学びのイメージを膨らませてみてください。

金 属

社会を支える材料の創製を目指す

身の回りで役に立つ「材料」をつくるためには、物質が魅力的な特性をもつように成分調整し、熱や力を与えて材質制御する必要があります。例えば、スマートフォンに搭載されている複眼カメラの性能を支えているのは、強度と導電性を兼ねた高力銅合金です。私たちは、材料設計の知見と加工熱処理技術を駆使して多様な材料群の高機能化とプロセス開発に取り組んでいます。



千星 聡 教授の研究に関する HP は
こちら



情 報

材料 × データサイエンス

～計算科学の力で材料開発の基盤をつくる～

マテリアルズ・インフォマティクスは材料に関する実験や論文のデータを機械学習やAIを用いて解析することで、効率的に新しい素材を開発する手法として高い関心を集めています。私の研究室では、近年急速に進歩している計算科学を利用して、「状態図」と呼ばれる材料の地図を作成しています。実験だけでは測定が困難な値を、高速かつ高精度に評価することで、材料開発の基盤を築いており、将来的には、より効率的な開発手法で革新的な材料開発が実現されることを期待しています。



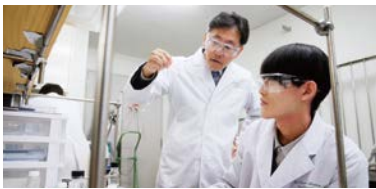
榎木 勝徳 准教授の研究紹介動画は
こちら



化 学

伝統技術を活かし、新素材の発展へ繋げる

現在私たちが抱える“環境保全問題”“エネルギー問題”を解決できる無機ナノシート物質・材料の創製に関する研究開発と、“資源確保・安定供給問題”を解決できる低環境負荷型資源回収技術に関する研究開発を推進しています。水や大気という環境の保全と浄化ならびに資源に関する社会問題を解決し、私たちの生活を豊かにするお手伝いをしたいと考えています。



笹井 亮 教授の研究紹介動画は
こちら



バイオマテリアル

新たな生体材料で

医学の未来に貢献する

生体に直接接触させて用いることができる材料(バイオマテリアル)をつくり、病気の診断・治療に役立てるための技術開発を進めています。新しい高分子を設計・合成して機能化を図ったり、細胞や組織を材料として用いることにもチャレンジしています。化学、材料科学から生物学、医学といった幅広い学問に触れながら、自分の考えたデザインを具体化させることの面白さを一緒に経験しましょう。



戸井田 さやか講師の研究紹介動画は
こちら



材料エネルギー学部 1 期生からのメッセージ



もともとエネルギー問題に興味があり、材料エネルギー学部に入學しました。授業では、日本のエネルギー政策を国際的な潮流や現場の視点から学べたり、大学の研究を実社会に適應するビジネス的な手法などを学べたりします。このような授業を受ける中で、自分のエネルギー問題に対する意識はより現実に即したものになっていく感覚があります。複雑多様化する社会には課題が山積していて、それらは曖昧に循環しています。この社会の中で必要とされる力は、夢や理想を具現化する力ではないでしょうか？この力が材料エネルギー学部で育っているような気がします。それも学部1年生の時にです！素晴らしい！ぜひ一緒に学びましょう！！

材料エネルギー学科 2 年
日野原 吏柊



材料は、様々な産業分野の基礎を担っており、私たちの生活をより良くしてくれます。そんな材料についての専門知識を、エネルギー問題との関係という視点や、情報技術からの視点など、これからの社会やものづくりの分野で必要とされるいろいろな角度から学べることが、材料エネルギー学部の魅力だと思います。また、この学部の特徴ある授業の1つとして、「アントレプレナーシップ」があります。問題の根本的な原因を見つけ、それを解決するための製品やシステムを考えるという、実践的な学びを学部1年生からできたことや、たくさん調べて考え、話し合ったことはとてもいい経験になりました。

材料エネルギー学科 2 年
大城 遥

教育・研究の拠点となる材料エネルギー学部棟



『令和 7 年春 完成予定！』

材料エネルギー学部の学部棟が、いよいよ令和 7 年春完成予定です！金属材料・化学材料の実験室や、情報教育専門のスペースも完備します。また地域産業の共創の場として、イノベーションラウンジや企業ラボも設置し、学生の専門的な学びを支えます。



生物資源科学部

Faculty of Life and Environmental Sciences



島根大学生物資源科学部は松江市の中心に位置し、湖、山、海などのフィールドが身近に存在する自然豊かな環境です。「生命科学科」、「農林生産学科」、「環境共生科学科」の3学科と附属生物資源教育研究センター（演習林、農場、臨海実験所）で構成されており、人間・社会・自然に関する幅広い教養や理学や農学に関わる基礎的な知識を身に付け、地域や国際社会で活躍できる人材の育成を目指して、研究・教育を行っています。



1 生き物とそれを育む自然環境を幅広く探求する

細胞以下のスケールの生命現象から、農林業とそれを取り巻く生態系、気候変動という大規模現象にわたり、生物資源の保全や管理、利活用に関する多岐にわたるトピックを学ぶことができます。



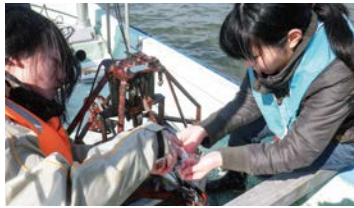
2 高度な専門知識と先端技術が身につく

生物学、化学、物理学、情報科学など、現代そして将来において重要となる学問分野に関するカリキュラムが組まれています。地域や国際社会で活躍できる高度な知識と技術が身につきます。



3 地域に根ざしたフィールド教育が充実している

豊かな山・湖・海・農山漁村の宝庫である山陰・島根県に立地しているという地の利を活かし、4年間のさまざまなカリキュラムを通して、地域に密着したフィールド教育を展開しています。



生物資源科学部

生命科学科（定員70名）

- 細胞生物学コース
- 水圏・多様性生物学コース
- 生命機能化学コース
- 食生命科学コース

農林生産学科（定員60名）

- 資源作物・畜産学コース
- 園芸植物科学コース
- 農業経済学コース
- 森林学コース

環境共生科学科（定員70名）

- 環境生物学コース
- 生態環境学コース
- 環境動態学コース
- 地域工学コース

大学院 自然科学研究科（博士前期課程）

理工学専攻（定員79名）

- 先端材料工学コース
- 知能情報デザイン学コース
- 機械・電気電子工学コース
- 数理科学コース
- 物理・応用物理学コース

環境システム科学専攻（定員78名）

- 地球科学コース
- 物質化学コース
- 環境共生科学コース
- 建築デザイン学コース

農生命科学専攻（定員43名）

- 生命科学コース
- 農林生産学コース

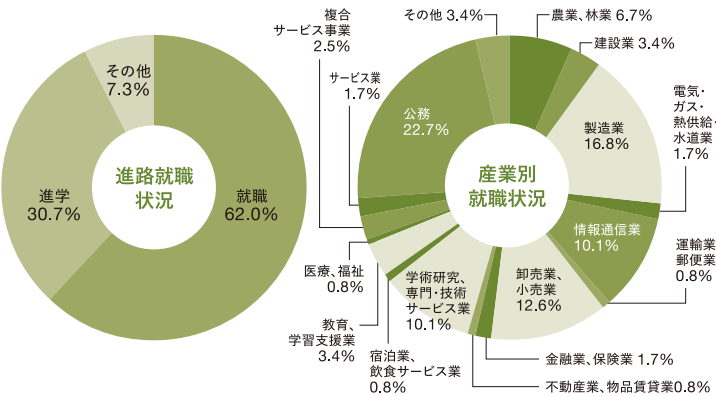
大学院 自然科学研究科（博士後期課程）

創成理工学専攻（定員15名）

- 理工学コース
- 自然環境システム科学コース

鳥取大学大学院 連合農学研究科（博士課程）

進路・就職



■主な就職先（令和6年3月卒業生）

あわしま堂、ウッドワン、NECソリューションイノベータ、カネコ種苗、コスモス薬品、新日本科学、全国農業協同組合連合会、セントラルコンサルタント、中外テクノス、TOA、なかやま牧場、日本プロセス、広島アルミニウム工業、福山通運、富士フィルムビジネスイノベーション、富士薬品、前田道路、マミーマート、三浦工業、ヤンマーアグリ、リコージャパン
広島県公立学校、大阪府公立学校
農林水産省、国土交通省中国地方整備局、航空自衛隊、広島市役所、岡山県警、姫路市消防局、和歌山県庁、鳥取県庁
【地元企業等】
出雲村田製作所、山陰ケープビジョン、島根電工、島根トヨベツ、大陸設計、プロテリアル安来製作所、マルナガファーム
鳥根県公立学校、鳥根県庁、出雲市役所

■主な進学先（令和6年3月卒業生）

島根大学大学院、広島大学大学院、岡山大学大学院、信州大学大学院、京都大学大学院、大阪大学大学院、神戸大学大学院、九州大学大学院
*順不同。就職先・進学先には大学院修了者を含まない。



生命科学科

- 資格
取得
可能
な
- 高等学校教諭一種免許状(理科) ●中学校教諭一種免許状(理科)
 - 学芸員〈細胞生物学コース、水圏・多様性生物学コース〉
 - 食品衛生監視員〈生命機能化学コース、食生命科学コース〉
 - 食品衛生管理者〈生命機能化学コース、食生命科学コース〉
 - 食の6次産業化プロデューサー

生命科学科では、微生物から動物・植物に至る多様な生物が示す様々な生命現象についての基本的な理解と根本原理の解明を目指すと共に、これら生物が有する様々な有用機能を食品・化学工業、医薬・農薬製造業などの生物・化学産業に役立てるための教育と研究を行っています。



■細胞生物学コース

細胞生物学コースでは、細菌や原生生物から動・植物まで幅広い分類群を対象とし、それら生物が示す様々な生命現象を分子・細胞・組織・個体レベルで捉え、生物の分子・生理・発生機構の分析を通して理解する能力を育み、ライフサイエンスの発展に寄与し、様々な分野で活躍する人材を育成することを目標にしています。

■水圏・多様性生物学コース

日本海から宍道湖・中海を含む湖沼河川まで多様な水域とその周辺の陸環境がもつ豊かな生物多様性を基礎科学の観点から捉え、実験・観察・数理的分析を通して理解する能力を育み、生物資源の持続・有効利用と環境保全に寄与し、この分野を牽引する人材を育成することを目標にしています。

■生命機能化学コース

生物学と化学の素養に基づき、生命の機能を分子レベルで理解すると共に、その成果を医薬品や化学系の分野に応用する技能を有した人材の育成を目指します。

■食生命科学コース

食品の栄養や有用成分の機能、食料生産に役立つ生命の仕組みを解明し、その成果を食品やバイオテクノロジーの分野に応用する技能を有した人材の育成を目指します。



農林生産学科

- 資格
取得
可能
な
- 高等学校教諭一種免許状(理科、農業)
 - 中学校教諭一種免許状(理科)
 - 森林情報士2級(森林GIS部門)〈森林学コース〉
 - 食の6次産業化プロデューサー

農林業生産による豊かな人間生活の実現を目指し、農産物及び林産物に関する持続可能な生産技術と経営・経済について教育と研究を行っています。4つの教育コースの専門性と連携に優れたカリキュラムには、専門的な知識と技術の修得を目指す講義や実験・実習、豊かな自然環境に恵まれた山陰という立地条件を活かしたフィールド学習が盛り込まれ、農林業とそれを取り巻く生態系、地域社会について総合的に学ぶことができます。



■資源作物・畜産学コース

作物及び生産動物を主な材料とし、その生理・機能性、持続的で効率的な生産についての知識を習得し、作物生産や畜産分野で活躍する技能を有した人材を育成します。

■園芸植物科学コース

野菜・花き・果樹を主な材料とし、資源開発・施設栽培・利活用・植物生理に関する知識と理解を深め、園芸生産や利用分野で活躍する技能を有した人材を育成します。

■農業経済学コース

食料・農業・地域の歴史と現状について総合的に理解し、社会科学の視点から考察・提案できる能力を備え、持続可能な地域社会の創造に貢献できる人材を育成します。

■森林学コース

森林・林業に関する総合的な知識を身に付け、地域や社会の要請に応じて中山間地域の振興から地球環境問題まで、幅広い問題を解決する能力を備えた人材を育成します。



環境共生科学科

- 資格
取得
可能
な
- 高等学校教諭一種免許状(理科、農業)
 - 中学校教諭一種免許状(理科) ●自然再生士補
 - 樹木医補〈環境生物学コース〉
 - 学芸員〈環境生物学コース、生態環境学コース〉
 - 測量士補〈地域工学コース〉 ●食の6次産業化プロデューサー

環境共生科学科では、土・水・生物などの資源と環境を保全・管理しつつ持続的に利用していく環境調和型社会の構築や実践に必要な専門知識や技術に関する、科学と工学の両面からの学習を重視します。学生の皆さんは、2年次から環境生物学・生態環境学・環境動態学・地域工学という、互いに重なり合いつつも特色ある4つの教育コースに配属され、多角的な視点から、地域の持続的発展に貢献する様々な手法の修得を目指します。



■環境生物学コース

森林・里山から農耕地を経て、河川・汽水域に至る広域な環境に生息する生物を対象とし、環境－生物及び生物－生物の相互作用に関する知識と研究手法を修得します。

■生態環境学コース

ヒトと自然の共存や生態系の保全を目指し、生物が生息する水・土環境で生じる多様な現象とそのメカニズムを科学の視点から理解するための知識と方法を修得します。

■環境動態学コース

環境の動態を理解するための学問と実社会における環境の解析や保全のための理・工学的的方法論を学びます。会得した知識を活用して持続可能な環境の実現に挑戦します。

■地域工学コース

地域の豊かな環境の保全・管理に、高度かつ倫理的にアプローチできる技術者の育成を目指し、実務経験者とも連携しながら実学的な知識と技術を修得します。



生物資源科学部附属 生物資源教育研究センター

<https://www.ipc.shimane-u.ac.jp/ercbr/>

ここにしかない自然を活かす

附属生物資源教育研究センターは、島根の豊かな自然と多様な生物がもたらす恵みを楽しむ利用するための教育研究を行っており、森林科学、農業生産科学、海洋生物科学の3部門からなります。各部門は、島根県中部及び西部の演習林、県東部の農場、隠岐の臨海実験施設を活用し、学生の自然に対する親しみや実地体験、新発見への貢献を目指します。部門間の教員が共通認識に基づき、森林から耕地を経て海洋へと流れ出す水と生活環境の関係、地域の活性化の視点から研究しています。教育面では各部門が協力した授業を開いています。

■森林科学部門

島根大学には600haの大学の森があります。国立公園三瓶山の麓の三瓶演習林は大学の森の1つで、森林資源を管理するスキルや森林の生態環境を調査研究するスキルを身に付けるための実習教育を行っています。大学の森は卒業論文や学位論文などの研究の場でもあるので、多種多様な分野の学生諸君の来訪を歓迎します。



■農業生産科学部門

当部門の本庄総合農場は、本学から東に6km離れた丘陵地にあります。15haの圃場では農林生産学科の実習を行っており、実習では、果樹や野菜、食用作物のほか、サクラも扱います。また、イチゴなどのジャム加工も行っています。



■海洋生物科学部門（隠岐臨海実験所）

当施設は本学から約60km北の隠岐島(島後)にあり、日本海の海洋生物や離島動植物を題材とした教育・研究活動を行っています。フィールドワークを通じて生物多様性を学習する活動を行っており、自ら採集した動植物を観察し、分類することによって自然を見る眼を養います。また、地球規模で起こる気象・海洋変動について生物群の経年変化をモニターするなど、グローバルな視点で生物多様性を考える力を養う実習などを行います。座学に留まらず、フィールドから学びたい人を歓迎します。



大学院

Graduate School

人間社会科学研究科

- 社会創成専攻（法政コース、地域経済コース、人文社会コース、健康・行動科学コース）
- 臨床心理学専攻



人間社会科学研究科は、多様性を持った人間がその多様性を尊重されて共生し、一人一人がその人らしく生きることができる社会を創成する人を育成します。社会創成専攻では、地域および現代社会の諸問題に対して、人間と社会の両面からアプローチし、各領域の学術的理論・方法・専門的知識に基づき、人文科学・社会科学に自然科学をも加えた学際的な視点に立って、実践的に問題解決に取り組む力を身につけます。臨床心理学専攻では、高いレベルの臨床心理学的な査定・面接・地域援助能力を基盤としてカウンセラー等として活躍する力、臨床心理実践を通して臨床の知を創造する力を身につけます。



教育学研究科

- 教育実践開発専攻（教職大学院）



社会構造の急激な変化や高度情報化社会の進展は、子どもたちが育つ過程に多くの影響を及ぼしています。また、学校で生じる諸問題や地域社会の抱える課題はますます複雑化し、学校教育に対する期待は多様化の傾向にあります。教職大学院では、こうした現代社会・地域社会の教育課題を探究し、解決に向かって具体的な方策を立て、人々の協働の中で熱意を持って取り組むことのできる高度の専門的能力及び優れた資質を有する教師を育成します。また、学校創造力、授業デザイン力、子ども支援力を高いレベルで身につけたスクールリーダーを養成し、未来を担う子どもたちを育てることを通じて、地域社会の発展に貢献します。



医学系研究科



医学及び看護学の発展と人類の福祉の向上に寄与するため、医学及び看護学に関する学術的理論とその幅広い応用を教授研究します。医学分野では、研究者として自立して研究活動を行うのに必要な高度の研究能力とその基礎となる豊かな学識を備えた研究者を養成し、同様に優れた研究能力と応用力を有する臨床医・腫瘍専門医、高度職業人、総合診療・地域医療の指導者を育成します。看護学分野では、広い視野に立って精深な学識を授け、看護学における研究能力や高度の専門性を要する職業等に必要の能力と、豊かな人間性を備えた研究者、高度専門職業人を養成します。



修士課程
医科学専攻
☐ 総合医科学コース
☐ がん専門薬剤師養成コース
☐ 地域医療支援コーディネータ養成コース
☐ 医療シミュレータ教育指導者養成コース
☐ 地域包括ケア人材養成コース（医療経営重点）
博士前期課程
看護学専攻
☐ 看護援助学コース
☐ 看護管理学コース
☐ 地域・在宅看護学コース
☐ 母子看護学コース
☐ がん・成人看護学コース
☐ 高齢者看護学コース
☐ がん看護CNSコース
☐ 老人看護CNSコース
☐ 助産学コース

博士課程
医科学専攻
☐ 研究者育成コース
☐ 高度臨床医育成コース
☐ がん専門医療人育成コース
☐ 総合診療・地域医療コース
博士後期課程
看護学専攻
☐ 超高齢看護学



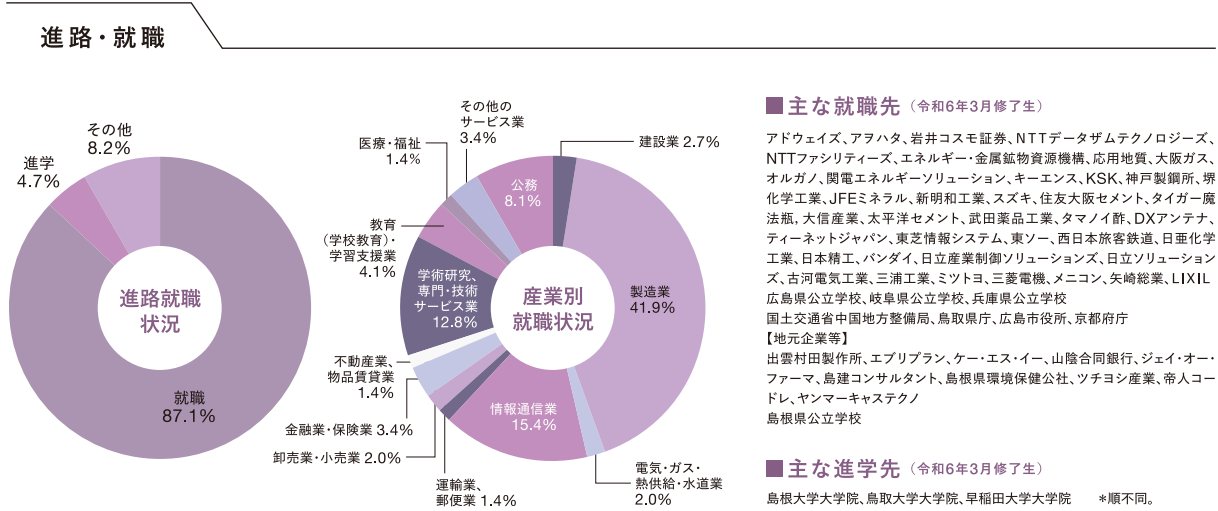
自然科学研究科



自然科学研究科博士前期課程では、専攻分野における確かな専門知識や技術、超スマート社会で主体的な役割を担うための情報技術力、外国語によるコミュニケーション力とグローバルな感性、柔軟な発想力をもって、社会や産業の構造変化に即した科学・技術の発展と持続可能な社会の実現に俯瞰的・総合的視点から寄与できる創造性豊かな高度技術者・研究者及びグローバルな視野を持って地域社会の発展に貢献できる人材を養成しています。また、国際感覚の修得に意欲を持つ学生、理学・工学・農学の医療応用や地域産業の振興に興味を持つ学生のために『医理工農連携プログラム』、『ダブル・ディグリープログラム』、『英語による留学生プログラム』と『英語による「地球」教育研究特別プログラム』を開設しています。博士後期課程では、「生物」と「非生物」の枠にとらわれない、広い視野を持って新たな分野を切り拓いていける人材を育成するために「創成理工学専攻」の1専攻体制とし、研究科内の各研究分野間に融合教育を推進しています。また、地域社会からのニーズに応える形で整備した博士前期課程における教育研究体制との連続性をもたせるため、創成理工学専攻の教育研究の柱となる領域を「理工学」と「自然環境システム科学」の2つとし、それに対応させて、「理工学コース」と「自然環境システム科学コース」を設置しています。博士後期課程ではマテリアル分野の地域産業の振興に意欲を持つ学生のための『マテリアル創成工学特別プログラム』、理学・工学の医療応用に興味を持つ学生のための『医理工農連携プログラム』、国際感覚の修得に意欲を持つ学生のための『英語による「地球」教育研究特別プログラム』の3つの特別教育プログラムを開設しています。



博士前期課程	博士後期課程
理工学専攻	創成理工学専攻
☐ 先端材料工学コース	☐ 理工学コース
☐ 物理・応用物理学コース	☐ 自然環境システム科学コース
☐ 機械・電気電子工学コース	
☐ 知能情報デザイン学コース	
環境システム科学専攻	
☐ 地球科学コース	
☐ 環境共生科学コース	
☐ 物質化学コース	
☐ 建築デザイン学コース	
農生命科学専攻	
☐ 生命科学コース	
☐ 農林生産学コース	



CAMPUS LIFE

全国各地から広く学生が集まっている島根大学では、さまざまな個性を持つ人たちとの出会いがあります。勉強はもちろんのこと、サークル活動や大学祭、インターンシップなど、今しかできないことばかり。大学時代という限られた時間の中で、数多くの経験を積み、充実したキャンパスライフを過ごしてください。



01

東野 美海

医学部
看護学科 4年

大阪府大阪市出身

仲間と支え合い乗り越える中で 将来への考えも深まります

地元の大阪から進学し、大学生活を送る中で島根が大好きになりました。部活動の先輩に星やホテルを見に連れて行っていただいたり、夏休みには自然が近いからこそできるアクティビティを楽しんだり、都会ではなかなかできないことをたくさん経験できています。また、3年時に行われた医学部附属病院での実習では、さまざまな患者さんを通じて、本当に多くのことを学ぶことができました。実習期間中は、スケジュール管理や早起き、記録など大変なこともありましたが、同じ実習班の友達と支えあい、乗り越えたことは自分にとって本当に忘れられない経験です。実習期間を経て「看護」というものだけでなく、人としてどのような姿に成長していきたいかなど、将来についても考えが深まったと思います。受験勉強は少し孤独で、今は苦しい時期かもしれませんが、大学を入学した先には、同じような志を持ったいろんな仲間に出会うことができます。そして島根でしかできない経験がたくさんできると思います。頑張ってください！！

1 週間のスケジュール

	月	火	水	木	金	土	日
1コマ	実習	実習	実習	実習	実習	バイト	バイト
2コマ	実習	実習	実習	実習	実習	バイト	バイト
3コマ	実習	実習	実習	実習	実習	バイト	バイト
4コマ	実習	実習	実習	実習	実習	バイト	
5コマ	実習	実習	実習	実習	実習	バイト	
放課後			部活		バイト		



イヤフォンは移動中や休憩時間の必需品。コード型は充電しなくていいというのがポイントです。

欠かせないモノ



高校生時代から毎年同じスケジュール帳を使っています。使いやすくて他には変えられません！



実習中、お弁当を持参するようになったことで料理にハマリ、お昼の時間が楽しみになりました。

MY FAVORITE!



少し足を伸ばせば自然があふれています。山に登るとリフレッシュできてストレスからも解放されるので、夏休みなどの長期休暇には、友だちと大山などに旅行に行くことも。

MY FRIENDS



剣道部のマネージャーをしています。自分自身に剣道の経験はないものの、一丸となって団体戦を戦う姿にはいつも感動。勝った時には泣きそうになります！

02

小川 宗一郎

総合理工学部
物理・マテリアル工学科 3年

大阪府箕面市出身

失敗も含めた幅広い経験が 自分自身の成長に繋がります

入学前は、やりたいことがはっきりせず不安が多かったため、「それなら、いろんなことをやってみよう」と決意。部活動に所属しつつ、研究室に早期配属させていただいたり、オープンキャンパスなどのお手伝いをしたりと幅広い経験を大学内で行うことができています。部活動においては、大会で成果を残すために日々練習を行うだけでなく、チームの同期と一緒に旅行するなど、時に楽しみつつ真剣に励んでいます。ただ、幅広い活動をしようと学業以外に夢になっちゃって授業がおろそかになったり、部活に本気で向き合い過ぎてチームメイトと意見がぶつかったりすることもありました。その結果、教授からお叱りをいただいたことや、先輩・後輩に迷惑をかけてしまったことも…。ですが、失敗した経験と、その失敗を乗り越えた経験もまた、大学生活でしかできない学びであり、その過程を経て自分自身が成長できるのが大学だと思います。現在、進路を考えている高校生のみなさんが、自己の成長が叶う場に出会えることを祈っています。

1週間のスケジュール

	月	火	水	木	金	土	日
1コマ	講義	講義				部活	部活
2コマ			講義	講義	講義		
3コマ	講義	実習		講義			
4コマ		実習					
5コマ	講義	実習	講義		講義		
放課後		バイト		バイト			
早朝		部活		部活			

競技用のクロス一つとっても、網の素材や編み方などこだわられるのもラクロスの面白さです。



欠かせないモノ



材料系の研究室に早期配属。今後の研究に活かそうと実験で解析した結果をまとめたノートは宝物！



研究室ではもちろん部活のミーティングでも必要になるパソコン。常に持ち歩いています。

MY FAVORITE!



お気に入りの場所は大学内にある図書館です！授業の合間やテスト前などによく利用しています。ひとりで集中したい時はもちろん、仲間とホワイトボードのあるスペースで勉強することも。

MY FRIENDS



部員総勢43名のラクロス部に所属。競技としての魅力はもちろんですが、先輩方の人柄に惹かれたのが入部の決め手でした。練習は厳しいけれど、和気あいあいとした雰囲気です。

03

土橋 未空

法文学部
言語文化学科 2年

広島県福山市出身

「これから」に繋がるよう やりたいことに果敢に挑戦！

大学は、やりたいことに挑戦する機会と思いがけない出会いにあふれた場所です。高校までは決められたスケジュールの中で行動してきましたが、自分自身が責任を持って「これから」に繋がる行動を選択しなければなりません。だからこそ、自分がやりたいと思ったこと、興味を持ったことに果敢に挑戦することができます。島根大学には、その挑戦を後押ししてくれる機会がたくさんあります。そのひとつが、サークル・同好会や学生ボランティアであり、「自分のやりたいこと」が見つかるきっかけになるかもしれません。私自身、2つの部活を兼部し、学生広報サポーターとしても活動しています。幅広い活動を行うことに当然不安もありましたが「やらない後悔」より「やる後悔」を選びました。そのおかげで、個性あふれる素敵な仲間に出会え、勉強以外の時間も充実したキャンパスライフを送っています！みなさんも、まずは一度しかない高校生活を思いっきり楽しんでください。その先にある「これから」が希望あふれるものであることを願っています。

1週間のスケジュール

	月	火	水	木	金	土	日
1コマ		講義					
2コマ	講義	講義	講義	講義	講義		
3コマ	講義		講義	講義	講義	部活	
4コマ				講義			
5コマ	講義		講義				
放課後		部活		部活	部活		



水分補給を欠かさないように常に持ち歩いているマイボトル。色とサイズがお気に入りです。

欠かせないモノ



キャンパス内にあるBakery&Cafeアセットのパンは美味しくて、パン好きにはありがたい存在！



修学旅行の思い出にと買ったファイルは今も現役。授業のプリントなどを入れています。

MY FAVORITE!



島根の自然は、大学生活の中で心にゆとりを与えてくれます。特に宍道湖は壮観です。夜に、音楽を聴きながら窓から星や雪を眺めるのもお気に入りの時間です。

MY FAVORITE!



年数回、家族が島根を訪ねてくれます。その時に一緒に観光するのも楽しみのひとつ。美保関の浮島橋のように出かけたくなるスポットが近くにあるのも魅力です。

CLUB & CIRCLE

部活・サークル

授業以外での貴重な体験を得る場として課外活動があります。大学が公認するサークルは、体育系・文化系を合わせて松江キャンパスには約100団体、出雲キャンパスには約50団体あり、多くの学生が学内外で活動を行っています。



松江キャンパス サークル一覧

体育系	文化系
■ 硬式野球部 ■ 準硬式野球部 ■ 軟式野球部 ■ 男子ソフトボール部 ■ ソフトボール同好会 ■ 男子バレーボール部 ■ 女子バレーボール部 ■ バレーボール愛好会 ■ バレーボール同好会 ■ 男子バスケットボール部 ■ 女子バスケットボール部 ■ SPIEL(バスケットボール同好会) ■ NOIZE ■ サッカー部 ■ フットサル部 ■ 硬式テニス部 ■ 硬式テニス同好会 ■ 硬式テニスクラブ ■ ソフトテニス部 ■ 卓球部 ■ 卓球同好会 ■ バドミントン部 ■ バドミントン愛好会 ■ ハンドボール部 ■ ラグビー部 ■ アメリカンフットボール部 ■ 男子ラクロス部 ■ 女子ラクロス部 ■ 男子アイスホッケー部 ■ 女子アイスホッケー部	■ 柔道部 ■ 剣道部 ■ 居合道部 ■ 空手道部 ■ 合気武道部 ■ 合気道部 ■ 少林寺拳法部 ■ 弓道部 ■ フリークライミング部 ■ ボクシング部 ■ ボート部 ■ 水泳部 ■ ワンダーフォーゲル部 ■ 陸上競技部 ■ 器械体操・新体操部 ■ アーチェリー部 ■ サイクリング部 ■ 馬術部 ■ 自動車部 ■ ユースホステルクラブ ■ 山岳部 ■ ダンスサークルSCRUM ■ よさこい連「國美輝」 ■ 学生生活向上サークル『SFIDA』 ■ サバゲー部 ■ 国際運動同好会 ■ shimasuno ■ 野球同好会 ■ ダーツ部
■ 混声合唱団 ■ 吹奏楽部 ■ ギター部 ■ 軽音楽部 ■ 邦楽部 ■ Pop'n Light Party ■ スナフキン ■ CROSS ROAD ■ 美術部 ■ 写真部 ■ 書道部 ■ 陶芸部 ■ 総合文芸部 ■ 漫画研究会 ■ 将棋部 ■ 囲碁部 ■ 麻雀研究会 ■ 裏千家茶道部 ■ 不味流茶道部 ■ 草月流華道部 ■ 天文部 ■ シアターちょこざい ■ 放送サークル ■ E.S.S ■ ISF ■ 手話サークル「いとまき」 ■ 献血推進サークル ぐっば ■ 赤十字奉仕団ぶらす ■ BBS ■ プレブレまつえキッズ	■ 総合環境サークル エコロジー・ネットワーク ■ 園芸同好会 ■ 野外研究同好会 ■ 隠岐の助っ人 ■ 島大Spirits! ■ 考古学研究会 ■ 無線通信技術部 ■ 島根大学かるた会 ■ 里山焼かんかね? ■ 島根大学ものづくり部Pim ■ 鐵道研究会 ■ 能楽部 ■ 映画同好会 ■ 島根大学スマブラサークル ■ 島根大学TRPGサークル ■ ジャグリングサークル「Kaleido」 ■ お笑いサークル「あちゃらか」

出雲キャンパス サークル一覧

体育系	文化系
■ サッカー部 ■ 剣道部 ■ 準硬式野球部 ■ 硬式庭球部 ■ バスケットボール部 ■ 卓球部 ■ 弓道部 ■ 陸上競技部 ■ 馬術部 ■ 山岳部 ■ バドミントン部 ■ バレーボール部 ■ 空手道部 ■ 少林寺拳法部 ■ ソフトテニス部 ■ 水泳部 ■ ラグビー部 ■ フラッグフットボール部 ■ 合気道部 ■ テニス同好会 ■ ダンス部 ■ SMFC (Shimane Medical Futsal) ■ フットサルサークル ■ 医学部柔道部	■ 地域医療研究会 ■ 芸術倶楽部 ■ シュールカメラート管弦楽団 ■ 茶道部 ■ 軽音楽部 ■ 写真部 ■ キンダーフロント ■ 合唱部 ■ 陶芸部(桂医属) ■ ガーデニングクラブ ■ 手話サークル ■ 農園クラブ ■ 国際交流サークル ~IFMSA-Shimane~ ■ SCOP (Skill Conquest and Output Program) ■ Jazz研究会 ■ フローラ室内楽団

*出雲キャンパスでは、この他に任意団体(10サークル)が活動しています。

MATSUE CAMPUS

松江キャンパス施設



附属図書館

図書館内にはグループでディスカッションしながら学習できるエリアの他、静かで集中しやすい個人座席や個室もあり、目的や好みに応じて使い分けことができます。また、紙資料だけでなく、大学で契約しているデータベースなども多数利用できます。お困りごとはカウンタースタッフにお気軽にお尋ねください。



外国語教育センターワークステーション

外国語教育センターワークステーションは、皆さんがくつろいだ雰囲気の中で外国語の自学自習や留学生との交流もできるスペースです。英語や他の外国語、そして日本語の参考書やDVD教材、PCなども用意しており、授業期間中は教員も適宜在室し、質問に答えたり、個別指導を行ったりしています。



IZUMO CAMPUS

出雲キャンパス施設



英語学習支援室 e クリニック

英語学習支援室 e クリニック

島根大学医学部では、英語コミュニケーション力と国際的視野を備えた「地域と世界に貢献できるグローバルな医療人」育成を目指した医学英語教育高度化プログラムを展開しています。このプログラムの基幹施設として、講義棟2階に「英語学習支援室eクリニック」が設置されており、月曜から金曜の10:00～18:30の間、専任の英語教員、国際交流室スタッフ、学生ピアサポーターが利用者の英語学習支援や留学支援を行っています。eクリニックには、英語学習用書籍、パソコン、ビデオ教材、AV機器等様々な学習リソースが揃っているほか、留学生との交流、ランチタイム英会話、英会話サロン、英語学習セミナー、留学セミナー等、様々な英語学習や国際交流の場として多くの学生に利用されています。

医学図書館

医学系専門図書館として、医学・看護学分野の資料を多く提供しています。出雲キャンパスに所属する学生・教職員は、学生証・職員証を使った認証によって24時間入館でき、閲覧室で学習したり、館内の資料を利用したりすることができます。講習会を実施して、図書館の利用方法や文献データベースの活用方法についてもご案内しています。



学生アメニティスペース

出雲キャンパスの講義棟1階には飲食可能な学生アメニティスペースがあり、勉強や課外活動、グループでの集まりなど多目的に利用できます。持参したパソコンを使用して学習できる通信環境も整っています。



チュートリアル室

実習棟3・4階に合わせて15室あり、部屋にはパソコンやホワイトボードを備えています。医学科3・4年次の医学チュートリアルや講義において、少人数でのグループ学習の場所として使用されています。講義時間外は、自習の場所として、多くの学生が利用しています。



松江 ソーニョ（第1食堂）

島根大学のメイン食堂「ソーニョ」。ソーニョはイタリア語で『夢』の意味。2016年2月にリニューアルオープンする際に名称の公募で決まりました。充実した大学生活を送り、『夢』をもって将来に羽ばたいてほしい！そのためにも大学生活での食生活は大事です。毎月開催しているフェアメニューも学生から大好評です。お楽しみください。

朝・昼・夕食が食べられる！



営業時間 月～金曜 7:45～20:00（オーダーストップ19:30）
土 曜 11:00～14:00（オーダーストップ13:30）
※日・祝日は閉店

※記載の営業時間は大学開講時の営業時間です。大学長期休業期間は短縮営業や閉店になります。

松江 ニコラ（第2食堂）

“ニコラ”でニコニコ笑顔になってほしい！2016年からイスラム圏の留学生にも食べて頂けるよう特別なメニューを提供しています。なかでも、グリーンカレーは日本人にも美味しいと大変好評です。1Fは島根県産の調味料を使った特製唐揚げを提供しています。

ハラール推奨メニューがあるよ！



営業時間 1F: 月～金曜 11:30～13:30（オーダーストップ13:00）
2F: 月～金曜 11:30～14:00（オーダーストップ13:30）
※土・日・祝日は閉店

松江 Bakery&Cafeアセット

アセットの Pasta はおいしいですよ。定番の Pasta が週替わりで4種類＆月替わりの Pasta と Pasta ランチが加わったメニューからどうぞ。13:00からはデザートメニューが登場！日頃はバランスのとれた食事をとりながらも、時には甘いもので心を満たしましょう。もちろん焼き立てパンとサンドイッチがアセットのメインメニューです。お忘れなく。

焼き立てパンが魅力！



営業時間 月～金曜 9:00～15:00 ※土・日・祝日は閉店

松江 カフェ ViViCa

「時間がないし簡単な食事にしよう」「コーヒー1杯だけ飲みたい」そんな時に島大生・教職員に重宝されているのが学内の中心部に立地するカフェViViCa。軽食や各種ドリンクを揃え、昼食時には生協弁当も提供しています。ところでViViCaってどんな意味？



営業時間 月～金曜 10:00～15:00 ※土・日・祝日は閉店

出雲 医学部食堂

医学部生は授業や実習でとても忙しい！バランスの取れた食事をしっかりとらないといけない。そんな医学部生の食生活を応援する食堂です。豊富な定番メニューと毎月の企画フェアメニューから選んで楽しみながら食事することができます。



営業時間 月～金曜 11:00～19:30（オーダーストップ19:00）※土・日・祝日は閉店

国際交流 留学制度

International Exchange Study Abroad Programs

アジアをはじめとする諸外国との交流の推進

短い期間でも海外に出ると、世界の素晴らしい文化や異なる価値観に触れ、グローバルな視点を持つことができるとともに、日本文化を客観的に見直すことができます。島根大学では、様々な短期の海外研修を実施しています。また、海外の協定校に長期で交換留学する制度もあります。普通に大学に通っているだけでは得られない体験があなたを待っています。ぜひ一歩踏み出してみませんか。

国際センターホームページ
https://kokusai.shimane-u.ac.jp/



海外研修

島根大学では、学生交流に関する協定を締結している海外の大学との間で、留学希望の学生を6ヶ月から1年以内の期間、相互に派遣する交換留学制度により学生の交流を推進しています。また、交換留学制度以外にも授業の一環として、フレックスタームや春・夏の休業の時期に短期研修を実施しています。この研修は、ホームステイ、語学・文化講座の受講、現地学生との交流等充実した内容になっています。双方向の研修制度と交換留学制度を通して、学生の国際性の向上を支援します。

海外短期研修（令和5年度実績）

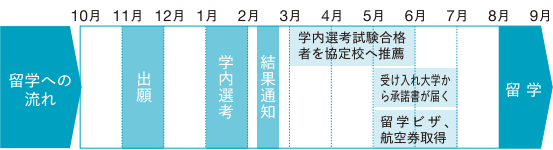
- ・韓国研修（韓国外国語大学、約10日間）
- ・中国語圏研修（西北農林科技大学、約2週間）
- ・グローバルイシュー実践海外研修（オーストラリア、約1週間）
- ・フランス短期海外研修（オルレアン大学、3～4週間）
- ・海外課題解決型就業体験プログラム（カンボジア等、約2週間）

上記以外にも、学部、センター等主催の海外研修があります。

交換留学

交流協定締結大学への留学

学内選考に合格した学生は、本学に在学した状態で海外の交流協定大学に交換留学生として派遣されます。留学を希望する学生は、まず島根大学において学内選考を受けなければなりません。



※8～9月留学開始の例

■アメリカ春期語学研修（アーカンソー大学）

この研修はアーカンソー大学（本学協定校）での授業、ホームステイ体験、カンパセーションパートナーとの交流、企業見学、地域でのボランティア、高校訪問等、様々な体験を通して実践的な生きた英語を学びます。



令和元年度 研修の様子（令和2年2月）

■フランス短期海外研修（オルレアン大学）

フランス・オルレアン大学（本学協定校）でのフランス語研修・文化研修を通して、実践的なオーラルコミュニケーションの力を身につけ、さらにフランスおよびヨーロッパ文化・社会についての知識と理解を深めます。



令和5年度 研修の様子（令和6年3月）

◎派遣期間

6ヶ月以上1年以内（留学期間が1年を超えることはありません）。

◎授業料

島根大学に通常通り授業料を納付します。派遣先における授業料等は、相互不徴収協定に基づき徴収されません。

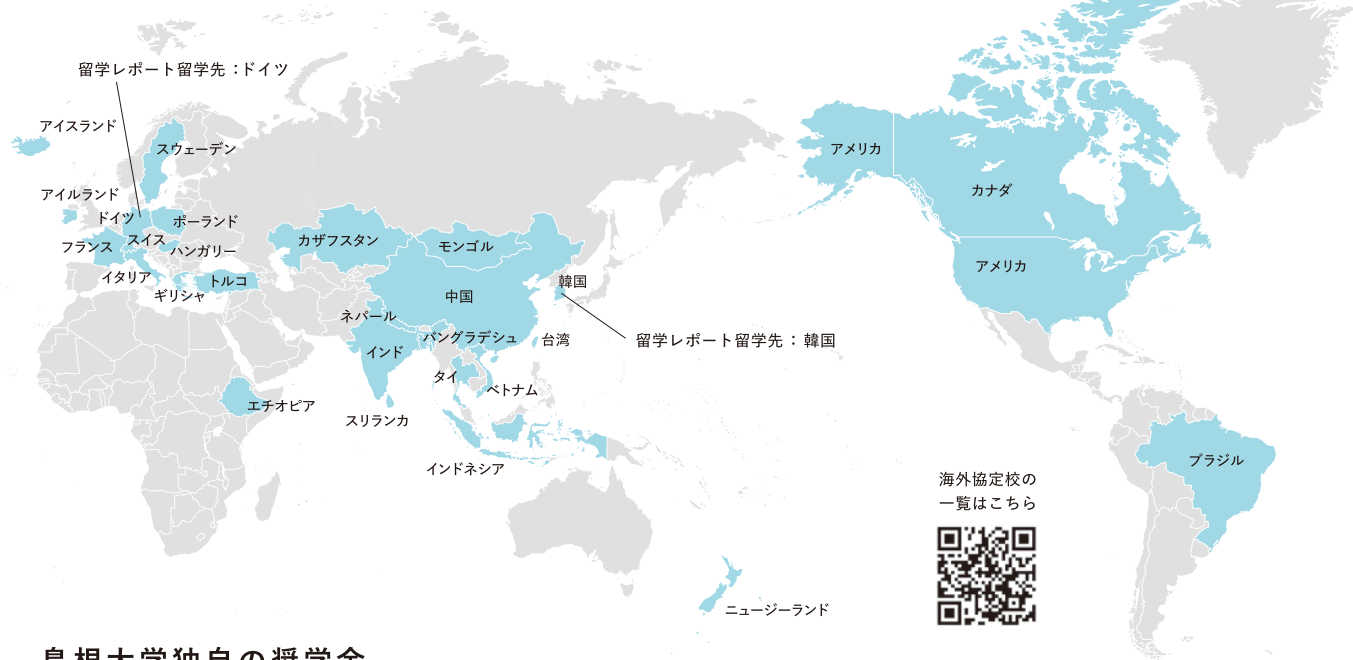
◎奨学金

◆独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）海外留学支援制度

日本の大学及び大学院が、諸外国の大学との学生交流に関する協定に基づいて、1年以内の期間、在籍のまま学生を派遣する場合、その留学生を奨学金支給により支援する制度です。

交流協定締結校 104 校（令和 6 年 4 月 1 日現在）

交流協定締結校がある国・地域



海外協定校の一覧はこちら



島根大学独自の奨学金

海外にチャレンジする学生を支援するため、島根大学では留学期間などに応じて返済不要の奨学金を支給しています。

島根大学短期海外研修プログラム奨学金

◎支援対象者

各学部等が実施する海外留学・研修プログラムに参加する者

※奨学金給付の可否は国際センターで決定します

◎奨学金支給額

・単位取得が可能な場合 5万円 ・左記以外の場合 3万円

島根大学グローバルチャレンジ奨学金

◎支援対象者

※奨学金給付の可否は国際センターで決定します

- ・交換留学等により6か月以上の期間留学する日本人学生
- ・自ら企画する海外留学・研修プログラムまたは外部団体・機関が企画・実施する海外でのボランティア活動やインターンシップ等を主な目的とするプログラムに参加する日本人学生

◎奨学金支給額 ・5～25万円（留学先・期間によって異なる）

留学レポート

戦争続く欧州で今を生きて

ドイツ連邦共和国：トリア大学

法文学部・社会文化学科4年 新田 欧介



私は入学当初からオーストリアの近現代史に興味がありました。そのため大学生のうちに専門的なドイツ語文献を読む力を付け、実際に現地で様々な事物を五感で感じて学びたかったので同じドイツ語圏のトリア大学に留学しました。留学中はもちろん生きた言語力の習得に主眼を置いていましたが、生活をする中で強烈に印象に残ったのはウクライナからドイツへ避難してきた人々との交流です。故郷に帰りたくても帰れない人々との交流や、留学前から行く決めていたアウシュヴィッツ＝ビルケナウ強制収容所などの訪問を経て平和の尊さをひしひしと感じ、世界の歴史や出来事を自分事として捉えられるようになりました。そして平和のために今の私に何ができるかという問題意識が強まるなど、意識の面で大きな変化がありました。今後は、留学を通して得た物事を多角的に見る視点や困難を抱えた当事者に優しく寄り添う姿勢を学業や将来の仕事で活かしていきたいです。



留学が教えてくれたこと

韓国：韓国外国語大学

教育学部学校教育課程Ⅰ類小学校教育専攻4年 木多 咲月



慣れない言語、見知らぬ景色と人々。韓国での生活は毎日が刺激的で、ずっと高揚感を感じていました。韓国語の学習歴がほぼなかった自分は学習を重ねていく中で少しずつではありますが、韓国語の読み書きができるようになりました。覚えた単語や文法を活かして現地の人と話したいと思い、カタコトで伝える自分の姿を現地の人は笑顔で受け入れてくれました。言語も違えば、食文化も考え方も生活スタイルも異なりました。しかし、相手の表情やジェスチャーを通じてコミュニケーションを図り、お互いの理解を深めることができました。異なる言語を学ぶことの重要性は理解しつつも、笑顔や心の手招きが、相手とのコミュニケーションを円滑にし、理解を深める鍵であることを学びました。韓国での生活を通じて、新しい文化や新しい自分との出会いがありました。この経験で培った異文化理解や柔軟性、コミュニケーションスキルを今後の挑戦に活かしていきたいです。



学生生活支援

Student Support

充実した支援制度で学生生活をサポート

島根大学では、学生一人ひとりに応じたきめ細かい修学支援を行っています。経済的に就学困難な学生については、授業料免除制度、各種奨学金制度、授業料等奨学融資制度を整えています。



授業料免除制度

◎学 部

大学等における修学の支援に関する法律により、住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の学生（日本学生支援機構の給付奨学金採用者）を対象に授業料の減免（全額免除、3分の2免除、3分の1免除、4分の1免除）を行います。家計及び資産の要件のほか、学力や申請のための要件を満たす必要があります。

授業料免除制度 学部
説明はこちら



◎大学院

次のような場合には、本人の申請に基づき、選考のうえ、授業料の全額または半額を免除することがあります。

- （１）経済的理由により授業料の納入が困難であり、学業成績が優秀である場合
- （２）各学期開始前6月以内（ただし、新入生の場合、前期分に限って入学前1年以内）に学資負担者が死亡した場合、または本人もしくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合

授業料免除制度 大学院
説明はこちら



入学に要する費用

- ・入 学 料 ／ 282,000円
- ・授 業 料 ／ 年額 535,800円
半期 267,900円
- ・教材購入費用 ／ 約245,000円
（教科書・パソコン・電子書籍セットなどの勉強準備にかかる費用）

■学部別教科書購入例（1年生前期）

大学では、各自で履修する講義を決めることから始めます。履修する講義が決まれば、大学のシラバス等で必要な教科書を確認し、各自で購入してください。

学 部	冊 数	金 額
法文学部	7冊	約18,000円
教育学部	10冊	約17,000円
人間科学部	6冊	約17,000円
総合理工学部	8冊	約25,000円
材料エネルギー学部	6冊	約27,000円
生物資源科学部	5冊	約19,000円
医学部	6冊	約24,000円

※実際に島大生が1年生前期に購入した教科書購入例です。人によって受ける講義が異なりますので、上記の教科書購入冊数・金額はあくまでも一例になります。

奨学金制度

日本学生支援機構奨学金のほか、地方公共団体または民間団体による奨学金制度で大学を経由して応募するものもあります。

■①日本学生支援機構奨学金

第一種奨学金（無利子貸与）

◎学 部

〔自宅通学〕2万円・3万円・4.5万円から選択

〔自宅外通学〕2万円・3万円・4万円・5.1万円から選択

◎大学院

〔修士・博士前期課程〕5万円・8.8万円から選択

〔博士後期課程〕8万円・12.2万円から選択

第二種奨学金（有利子貸与）

下記の金額から選択します。

◎学 部

2万円～12万円の間で1万円単位で選択

◎大学院

5万円・8万円・10万円・13万円・15万円

※年利3％を上限とする利子付です（在学中は無利子です）。

給付型奨学金

申し込みは在学している高等学校または入学後に行ってください。

◎自 宅 通 学

授業料が全額免除の場合 29,200円（33,300円）

◎自宅外通学

授業料が全額免除の場合 66,700円

※自宅通学、自宅外通学それぞれ他三区分別あり
（ ）内は生活保護を受けている生計維持者と同居している人等の金額

奨学金制度 日本学生支援機構奨学金の
説明はこちら



■②その他の奨学金

地方公共団体または民間団体による奨学金制度があります。地方公共団体の奨学金については、都道府県市区町村の教育委員会で直接取り扱っているケースも多いので、出身地等の教育委員会に問い合わせてみてください。

■夢チャレンジ奨学金

学部1年生（私費外国人留学生を除く）の入学後の1年目にかかる経済的負担の軽減と充実したキャンパスライフや将来の夢に向けたチャレンジを応援するために設けられた本学独自の奨学金制度です。奨学生には返還の必要のない給付奨学金20万円が支給されます。申請には授業料の免除条件を満たす者であること等条件がありますので、HP等により確認をしてください。

■授業料等奨学融資制度

経済的に授業料及び入学料の納入が困難で、修学に支障がある学生が、大学が提携している山陰合同銀行から融資を受けることができる制度です。返済は卒業後で、在学中は本学が奨学援助金として利子を負担します。

■県内定着奨学金

島根県の将来を支えていく人材を育成し、地元定着を促進するとともに、島根県内の活性化に貢献していきたい意欲の高い学生を支援する奨学金制度です。島根県内に就職・定住等を希望する学生は、学部3年次より奨学金が支給されます。申請には一定の要件がありますので詳しくはHP等より確認してください。

学生教育研究災害傷害保険

本学では、学生教育研究災害傷害保険と学研災付帯賠償責任保険を取り扱っています。学生教育研究災害傷害保険は、インターンシップ・介護体験活動・教育実習等を含む学生の正課中、学校行事中、課外活動中及び学校施設内などでの教育研究活動中の急激かつ偶然な外部からの作用によって生じる事故により身体に傷害を負った場合に保険金が支払われるものです。また、同じく上記活動中に他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害について保険金が支払われる学研災付帯賠償責任保険もあり、本学では両方への加入をお勧めしています。

修学 健康支援

Health Support

学生一人ひとりに応じた きめ細やかなサポート

島根大学では、学生1人ひとりに応じた修学支援、学生相談を実施しています。修学支援については、学生センターで各学部の学務担当が対応しています。また、学生生活上の様々な悩み事の相談については、指導教員のほか、学生相談室（保健管理センター）、学生支援センター内の学生支援課においても相談員等が個人相談に応じえています。



修学支援

島根大学は、学部や学科等の専門以外にも特別なスキルを身につけようとする学生やキャンパスを飛び出して地域で学んでみたいと考える学生の積極的な学びを後押ししています。

■フレックスターム・ギャップターム

フレックスタームは、前期の授業期間終了後の4週間をいい、インターンシップや短期（中期）の海外留学など、自主的な学習を促進する期間です。ギャップタームは、フレックスタームと夏季休業期間を合わせた期間で、集中講義や実験、実習などのほか、この期間を活用して海外留学、長期インターンシップ、ボランティア活動などに積極的に参加することを期待しています。

■ピアサポートプログラム

新入生が抱える様々な不安や問題を解決し、先輩が後輩の学習や大学生活を支援するピア（仲間という意味）サポートプログラムを実施しています。履修登録時のアドバイスや授業内容・課題などがうまく理解できない場合にサポートをすることで、新入生は安心して学生生活を送ることができます。上級生は自己の体験と蓄積をいかし、ノウハウを伝授することにより、自らも刺激をうけ学生生活を内省する機会としています。

表彰制度・学内資格認定

島根大学では、学術研究・課外活動等で功績が認められた学生には、「学生表彰」を実施し、専門的知識の修得等が認められた学生には、「学内資格認定」を実施しています。

■学生表彰

成績優秀、学術研究、課外活動、社会活動等、優秀な成績や業績が認められた学生を表彰する制度です。在学中に勉学に精励し、学業成績が優秀で他の学生の模範となった学生や、課外活動において全国大会規模で優秀な成績を収め、課外活動の振興に功績があった学生等は、入学式または学位授与式において表彰状を授与されます。

■学内資格認定

授業その他学内または学外における活動等において、一定の基準を満たした本学学生に対して、教育効果の高揚及び就職支援に資する目的で、学内資格を付与する制度です。現在下記の資格が認定されていますが、授業科目等により、新たな資格が追加認定されることもあります。

- 島根大学情報セキュリティ管理士
- 島根大学環境マネジメントシステムリーダー
- 島根大学地域医療推進リーダー
- 島根大学障がい者支援技能士

松江保健管理センター

保健管理センターは、大学における「保健室」です。学生の皆さんが心身ともに健康で大学生活が送れるように専門スタッフ（医師、保健師、カウンセラー）がいつでも相談に応じえています。

- TEL:0852-32-6568
- E-mail:health@soc.shimane-u.ac.jp

保健管理部門	摘 要
応急処置	おなかが痛い、風邪、運動中に捻挫した等、ケガや病気の応急処置を行います。必要に応じて学外の医療機関にも紹介します。
健康診断	毎年4月に定期健康診断を実施しています。日程等の詳細は、ホームページに掲載します。
健康相談・教育	からだの不調や健康に関する不安、月経に関する悩み、食生活・栄養などの相談に、医師、保健師が応じます。
ヘルスチェック	自動測定できる身長体重計・血圧計を備えており、ご自由に使用できます。
健康関連グッズの貸し出し	傷処置用カバン、血圧計、健康関連図書、車椅子を貸し出しています。

学生相談部門 (学生相談室)	摘 要
カウンセリング	こころの健康の維持増進と成長をサポートします。生じている悩みや問題について一緒に考え、解決していく力を身につけられるよう支援します。カウンセリングでお聴きしたお話を許可なく外部に漏らすことはありませんので、安心してご相談ください。 <相談例> ●勉強や進路に関すること ●対人関係に関すること ●自分の性格、自分自身のこと ●性に関すること ●ハラスメントに関すること □相談受付 9:00～17:00(土曜・日曜・祝日を除く) TEL: (0852)32-6626 E-mail: gakusou@soc.shimane-u.ac.jp ※必要に応じて、心理テストに取り組むこと、医療機関を紹介すること、学内の他部署(キャリアセンターや障がい学生支援室、各指導教員)等との連携を図ることもしています。

出雲保健管理センター

学生の皆さんが心身ともに健康な生活が送れるよう医師・保健師やカウンセラー（臨床心理士）が次のような内容に対応しています。

- TEL:0853-20-2099
- E-mail:healthizumo@med.shimane-u.ac.jp



健康管理部門	摘 要
応急処置	適宜、必要な応急処置を行い、症状などにより医療機関を紹介します。
健康診断	毎年4月～5月に定期健康診断を実施します。
ワクチン接種など	B型肝炎ワクチン(対象者のみ) インフルエンザワクチン(実習生のみ)
ヘルスチェック	身長・体重・血圧の測定が自由にできます。
健康関連グッズの貸し出し	血圧計、車いす
身体面・心理面の健康相談、その他の困りごとに対応します。	

学生相談部門	適 用
カウンセリング	学生相談・カウンセリング(学生相談室) □相談受付 9:00～17:00(土曜・日曜・祝日を除く) E-mail: soudan@med.shimane-u.ac.jp



障がい学生支援室

障がい学生支援室では、指導教員や保健管理センターの先生方等と連携しながら、障がい等により修学上困難を抱える学生の相談（修学相談、就職相談等）や合理的配慮にもとづいた修学支援を行っています。また、障がいのある学生さんを支援するサポーター（聴覚障がい者へのノートテイク等）養成も併せて行っています。障がい学生支援室には、障がいや悩みのある学生さんやサポートスタッフの皆さんが交流できるスペースを設けておりますので、ちょっとお茶を飲みに来る感覚でお気軽にご利用ください。障がいの有無にかかわらず、誰でも「WELCOME」です。

入学前相談
入学後のサポートについての事前相談も積極的に対応しておりますので、どうぞお気軽にご相談ください。なお、本学における入学後の支援体制や制度・規則、具体的な支援の内容、支援の実施状況等の情報については、大学のホームページから障がい学生支援室の年報をご確認ください。 不明な点がある場合は右記の連絡先まで直接ご連絡ください。



障がい学生支援室



大学会館

場所: 大学会館松江2階
時間: 平日10:00～16:00

TEL:0852-32-9770
E-mail:ssd-shien@office.shimane-u.ac.jp

就職支援

Career Support

みなさんの「未来づくり」を応援！

自分らしさって？卒業後の進路は？みなさん、そんな自分への問いかけが尽きないのではないでしょうか。答えは、なかなか簡単には見つからないものです。まずは、どんな風に生きていきたいかをデザインすることから始めましょう。すると、自分に合った学び方や働き方が見えてきます。キャリアをどう積んでいくか。それは人それぞれに異なって当然です。自分らしいキャリアを歩めるかどうか。自分自身への理解を深めること、そして、社会への関心を広く持つことが大切です。自分の未来を描ける力を身につけてください。決断できる力を身につけてください。みなさんの「未来づくり」を応援しています。

大学教育センター(キャリア担当) ホームページ
<https://career.shimane-u.ac.jp/>



キャリアデザインプログラム ホームページ(CDPマスター)
<https://career.shimane-u.ac.jp/gakusei/cdp.html>



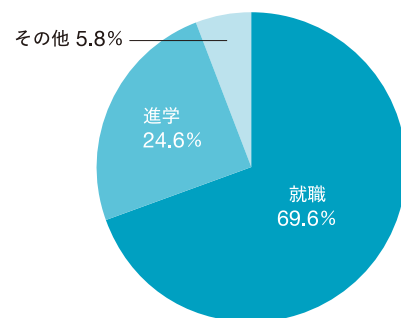
島根大学の進路状況

■ 高い就職率及び進学率

本学卒業生の就職率及び進学率は近年90%台後半という高い水準を維持しています。

96.6%

※令和6年3月学部卒業生(令和6年4月30日現在) ※就職率は、就職希望者の就職率を示す。



地域とともに

インターンシップの受入企業等を集めて学生へプログラムを紹介し、地元企業・事業所での就業体験を促す「インターンシップフェア」や、学生と島根県内企業の先輩が交流する「OB・OG交流会」など、関係機関と連携した企画を通じて県内企業の魅力を知ってもらう機会を数多く提供してきました。また、オンライン上では掲載されていない県内企業等からの求人情報を対象学年全員へメール配信したり、島根県内の求人情報に特化した閲覧コーナーを設けたりするなど、県内就職率向上に向けた取り組みを行っています。



特色ある支援制度

■ 県内定着奨学金

島根県の将来を支えていく意欲を持つ人材を育成し、島根県内への定着を促進し、地域の活性化に貢献する学生を在学中から支援するという趣旨のもと、県内企業の寄附金を基に設立した制度です。

■ 中長期インターンシップ支援金

中長期インターンシップを活用して実務的なスキルや経験を積み、自分の適性や実力を把握しようとする学生や、地域課題解決型教育を通じて地域の抱える課題解決に貢献しようとする学生を資金面より応援するため、支援金を支給する制度です。

■ しまだい Career ReUse

就職活動を終えた学生から就活用品を募り、経済的な理由で就職活動に不安を抱えている学生に寄贈する支援制度です。不安を和らげることにより、就職活動だけでなく学業や研究に専念できる環境を整えることを目指しています。

① キャリアデザインプログラム

島根大学が全学で実施するキャリア教育のためのプログラムです。所属学部で身につける「高度で実践的な専門性」を社会で生かしていくために、「社会の変化に対応する能力」および「生涯にわたり学び続けるための基礎的・汎用的能力や教養」を身につけることを目的としています。



令和6年度からは、クロス教育テーマ別プログラムとして開設する「CDPベーシック」と特別教育として開設する「CDPマスター」で構成します。詳細は、各サイトから確認できます。

CDPベーシックの説明はこちら



CDPマスターの説明はこちら



② インターンシッププログラム

インターンシップとは、学生が長期休業等を利用し、企業や官公庁等の職場で一定期間働く体験を通じて、「働くこと」や「社会人になること」を学ぶことができる制度です。島根大学では、インターンシップ参加者に対し事前指導及び事後指導を行い、インターンシップへの参加がより有意義なものになるようサポートをしています。また、所定の条件を満たすと単位として認められます。



年次別スケジュール

1年次	2年次	3年次	4年次	院1年次	院2年次
キャリアガイダンス					
		就職ガイダンス		就職ガイダンス	
① キャリアデザインプログラム					
② インターンシップ				インターンシップ	
③ キャリア・就職相談					
④ 合同業界研究会					
		合説	学内会社説明会	合説	学内会社説明会
				院生向けガイダンス	
		⑤ 面接練習		面接練習	

③ キャリア・就職相談

相談員複数名体制で毎日「個別相談」を行い、納得のいく進路選択ができるまで丁寧に支援しています。学年を問わず指導しているため、低学年からのリピーターが多いです。対面・オンラインからいずれかが選択できます。



④ 合同業界研究会

企業の経営者や人事担当者、島大卒業生の方から業界の動向や企業の社会における役割、働くことなどについてリアルな声を直接聞くことができるイベントです。



⑤ 面接練習会

グループディスカッションやグループ面接・個人面接などの面接特訓も行っています。専門の資格を持った講師による適切なアドバイスやフィードバックが充実しており、毎年希望者の多い企画となっています。



学生寮

Student Dormitory

共同生活を通じて人間的な成長をはかる

松江キャンパスには学生寮があり、全室個室で、A棟・B棟・C棟の3棟からできています。部屋は棟ごとにタイプが異なり、寄宿料等の必要経費も異なっています。入寮期間は、原則、学部1年生入学時から2年間で、入寮者は、通学時間や家計状況等を参考に書類選考で決定しています。



学生寮の概要

	A棟	B棟	C棟	備考
建物構造等	鉄筋4階・平成24年新築	鉄筋4階・平成25年改築	鉄筋3階・平成25年改築	
対象学生	男子・女子・留学生	男子・女子・留学生	男子・女子・留学生	B棟3、4階は女性専用階
収容定員	168人	91人	59人	それぞれ1室1名
入寮許可期間	2年間			
寄宿料	24,000円/月	4,000円/月	16,000円/月	
共益費	1,000円/月	2,500円/月	1,000円/月	共用部分光熱水費、清掃
入寮時一時金	19,250円	13,200円	19,250円	退去時の清掃費に充当
居室電気料金	個人契約・支払	2,000/月	個人契約・支払	B棟:実費と差額精算あり
居室面積	16.2㎡	13.7㎡	13.7㎡	A棟身障者用24.3㎡
設備	〈全棟共通〉ベッド(マットなし)、机、椅子、クロゼット、エアコン、テレビ・インターネット配線等 〈A・C棟〉ユニットバス、トイレ、ミニキッチン、洗濯機置場 〈B棟〉各フロアーに共同のキッチン、トイレ、シャワールーム、洗面所、コインランドリー			
駐車・駐輪	屋根付駐輪場有り(自家用車の持ち込みはできません)			

※金額は令和6年4月現在のものです。入寮時一時金は変更になる可能性があります。

学生寮内の様子

A 棟の居室内(個室)



B 棟の居室内(個室)



B 棟のキッチン(共同)



A 棟・C 棟のユニットバス(個室)



学生寮には管理人さんが常駐しています。管理人室に平日9:30～15:15は学生支援課職員が常駐、夜間22:00～6:00は当直者が在駐していますので、気軽にお声かけください。



■ 学生寮 Q&A

Q 食事はありますか？
A 寮食の提供はありません。自炊するか、大学生協の食堂等を利用ください。

Q 必ず入居できますか？
A 例年、空き室に対し、2倍ぐらいの申し込みがあり、家計状況等を参考に書類選考をします。

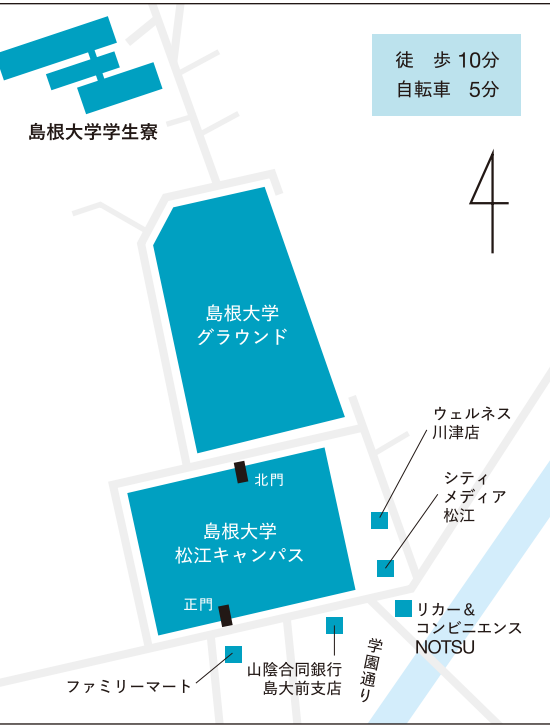
Q 障がいがありますが入居できる部屋はありますか？
A A棟に障がい学生用の部屋が2室あります。

Q 寄宿料等の支払いはどのような手続きになりますか？
A 銀行の口座引き落としになります。

■ 学生向けアパート・マンション紹介

大学周辺には、多数のアパートやマンションがあり、これらの物件は島根大学生協や大学周辺の不動産会社で紹介しています。

寮までのアクセス



Vsign2024大学生協
ホームページ



島根大学の入試

Entrance Exam

入試に関する情報

■ 入試説明会、入試説明動画

大学スタッフが質問や相談にお答えします。

詳細はホームページにてご確認ください。

島根大学ホームページ ▶ 入試情報 ▶ インフォメーション ▶ 入試説明会・進学説明会



■ 動画「高校生からの地域課題研究入門・そもそも」

地域課題研究に取り組んでいる君に！

詳細はホームページにてご確認ください。

島根大学ホームページ ▶ 入試情報 ▶ 右のバナーをクリック



■ へるんスクエア

受験生の多様な「学びのタネ(好奇心・探究心)」を重視する
総合型選抜Ⅰ「へるん入試」について知りたいあなたに！

詳細はホームページにてご確認ください。

島根大学ホームページ ▶ 入試情報 ▶ 右のバナーをクリック



インターネット出願

インターネット出願サイトはこちら

島根大学ホームページ ▶ 入試情報 ▶

インフォメーション ▶ インターネット出願



■ インターネット出願のメリット

- 1**

書類の取り寄せ不要

紙の願書を取り寄せる必要がありません。
- 2**

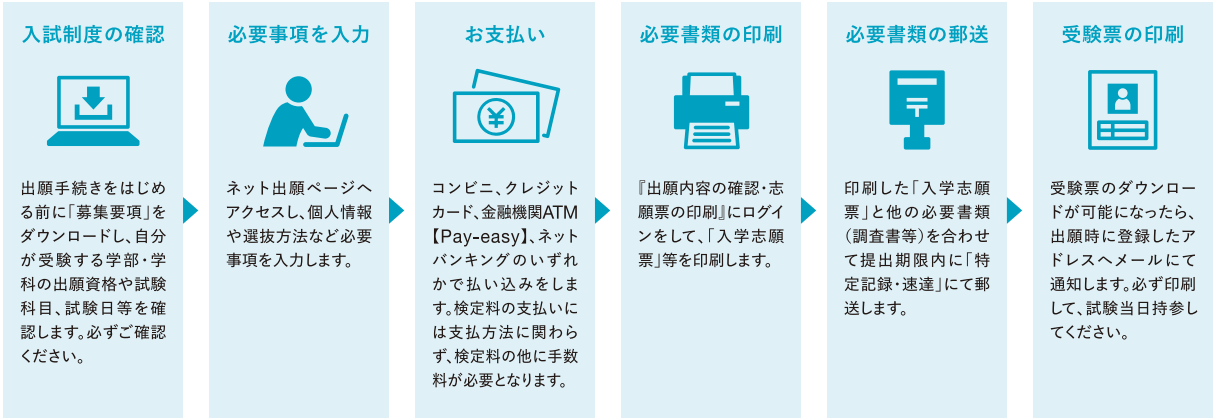
入力ミスがなくなる

入学志願票を手書きする必要がありません。パソコン入力のため、エラーがあれば先の工程に進めないため入力ミスが防止できます。
- 3**

24 時間支払い OK

検定料を24時間コンビニエンスストアなどから納入できます。

■ インターネット出願の利用手順



■ 学生募集要項の公表時期

学生募集要項の種別	公表時期(予定)	学生募集要項の種別	公表時期(予定)
一般選抜、専門高校・総合学科卒業生選抜	11月下旬	学校推薦型選抜II	7月下旬
総合型選抜I「へるん入試」	7月下旬	私費外国人留学生選抜	7月下旬

※上記以外の学生募集要項もあります。詳しくはホームページをご確認ください。

学生募集要項ダウンロードはこちら▶



入学者選抜要項および学部等案内の請求方法

島根大学ホームページ▶入試情報 ▶資料請求

1.「モバっちょ」での請求方法

〔請求に関するお問い合わせ〕

モバっちょカスタマーセンター
TEL.050-3540-5005
(平日10:00～18:00)



2.「テレメール」での請求方法

こちらからアクセス▶



3.「LINE」での請求方法

こちらからアクセス▶

※LINE請求はスマートフォン限定です。
※LINEアプリにて読み取ってください。



4. 大学に直接請求する方法

〔FAXでの請求〕

【松江キャンパス】0852-32-9726
【出雲キャンパス】0853-20-2079

〔メールでの請求〕

【松江キャンパス】
epd-nnyushi@office.shimane-u.ac.jp

【出雲キャンパス】

nyusi@med.shimane-u.ac.jp

※必要事項【タイトル「○○○案内請求」、必要部数、送付先の電話番号、郵便番号、住所、氏名、着払い宅配便で送付希望」を漏れなく記入して送ってください。※請求文を送信後は、確実に送信できているかどうか、電話(松江キャンパス0852-32-6073/出雲キャンパス0853-20-2087)で確認してください。※宅配料金は受け取りの際に業者に支払ってください。

令和 6 年度入試結果

一般選抜

学部	学科・課程・ 専攻等	日程	令和6年度入試						
			募集 人員	志願者	受験者 (A)	合格者 (B)	追加 合格者	倍率 (A/B)	
法 文 学 部	法経学科	前	27	50	47	33	0	1.4	
		後	19	156	38	20		1.9	
	社会文化学科	前	19	34	30	21	0	1.4	
		後	9	94	32	10		3.2	
	言語文化学科	前	23	43	39	27	0	1.4	
		後	8	105	27	13		2.1	
	計	前	69	127	116	81	0	1.4	
		後	36	355	97	43		2.3	
教 育 学 部	学校教育 課程I類	前	53	110	89	56	0	1.6	
		後	10	228	78	11		7.1	
	学校 課程II類 学校教育	保健体育科 教育専攻	前	7	14	13	7	0	1.9
		音楽科教育専攻	前	5	9	9	5	0	1.8
		美術科教育専攻	前	3	2	2	2	0	1.0
	計	前	68	135	113	70	0	1.6	
		後	10	228	78	11		7.1	
人 間 科 学 部	人間科学科	前	40	150	131	45	0	2.9	
		後	8	155	29	9		3.2	
	計	前	40	150	131	45	0	2.9	
		後	8	155	29	9		3.2	
医 学 部	医学科	前	58	487	422	69	2	6.1	
	看護学科	前	32	101	80	36	0	2.2	
		後	10	186	60	13		4.6	
	計	前	90	588	502	105	2	4.8	
後	10	186	60	13	4.6				
総 合 理 工 学 部	物理工学科	前	32	85	81	40	3	2.0	
		後	10	175	50	17		2.9	
	物質化学科	前	30	51	47	35	0	1.3	
		後	8	50	17	14		1.2	
	地球科学科	前	23	116	103	36	0	2.9	
		後	10	176	69	10		6.9	
	数理科学科	前	20	69	65	22	1	3.0	
		後	9	110	40	13		3.1	
	知能情報 デザイン学科	前	21	84	80	22	0	3.6	
		後	9	90	31	9		3.4	
	機械・電気電子 工学科	前	34	78	73	37	0	2.0	
		後	11	107	24	11		2.2	
建築デザイン学科	前	21	42	39	21	0	1.9		
	後	4	50	19	4		4.8		
計	前	181	525	488	213	4	2.3		
	後	61	758	250	78		3.2		
材 料 エ ネ ル ギ ー 学 部	材料エネルギー学科	前	40	101	95	47	0	2.0	
		後	8	122	22	10		2.2	
	計	前	40	101	95	47	0	2.0	
		後	8	122	22	10		2.2	
生 物 資 源 科 学 部	生命科学科	前	40	185	176	44	0	4.0	
		後	6	159	78	6		13.0	
	農林生産学科	前	31	132	125	34	0	3.7	
		後	5	70	25	8		3.1	
	環境共生科学科	前	35	133	123	39	0	3.2	
		後	11	127	58	12		4.8	
	計	前	106	450	424	117	0	3.6	
		後	22	356	161	26		6.2	
合 計			749	4,236	2,566	868	6	3.0	

学部	学科・課程・ 専攻等	日程	令和5年度入試						
			募集 人員	志願者	受験者 (A)	合格者 (B)	追加 合格者	倍率 (A/B)	
法 文 学 部	法経学科	前	30	86	81	37	1	2.2	
		後	21	179	57	25		2.3	
	社会文化学科	前	21	43	41	25	0	1.6	
		後	10	69	18	10		1.8	
	言語文化学科	前	25	41	40	30	0	1.3	
		後	9	77	16	9		1.8	
	計	前	76	170	162	92	1	1.8	
		後	40	325	91	44		2.1	
教 育 学 部	学校教育 課程I類	前	60	139	125	72	0	1.7	
		後	10	238	84	11		7.6	
	学校 課程II 類教育	保健体育科 教育専攻	前	7	16	15	8	0	1.9
		音楽科教育専攻	前	5	11	6	6	0	1.0
		美術科教育専攻	前	3	3	3	3	0	1.0
	計	前	75	169	149	89	0	1.7	
		後	10	238	84	11		7.6	
人 間 科 学 部	人間科学科	前	45	91	82	55	0	1.5	
		後	10	72	22	12		1.8	
	計	前	45	91	82	55	0	1.5	
		後	10	72	22	12		1.8	
医 学 部	医学科	前	58	649	416	64	0	6.5	
		後	32	40	30	30		1.0	
	看護学科	前	10	76	12	12	0	1.0	
		後	10	76	12	12		1.0	
総 合 理 工 学 部	理工工学科	前	32	42	37	35	1	1.1	
		後	10	105	17	15		1.1	
	物質化学科	前	30	45	43	33	0	1.3	
		後	8	95	26	13		2.0	
	地球科学科	前	23	49	44	29	3	1.5	
		後	10	58	9	8		1.1	
	数理科学科	前	20	42	40	24	0	1.7	
		後	9	54	21	12		1.8	
	知能情報 デザイン学科	前	21	27	26	21	0	1.2	
		後	9	60	16	10		1.6	
	機械・電気電子 工学科	前	34	41	38	36	0	1.1	
		後	11	109	23	13		1.8	
	建築デザイン学科	前	21	44	41	21	0	2.0	
		後	4	35	13	7		1.9	
	計	前	181	290	269	199	4	1.4	
		後	61	516	125	78		1.6	
材 料 エ ネ ル ギ ー 学 部	材料エネルギー学科	前	40	83	76	51	0	1.5	
		後	8	89	17	8		2.1	
	計	前	40	83	76	51	0	1.5	
		後	8	89	17	8		2.1	
生 物 資 源 科 学 部	生命科学科	前	40	37	36	36	0	1.0	
		後	6	43	11	11		1.0	
	農林生産学科	前	31	28	28	28	0	1.0	
		後	5	23	8	8		1.0	
	環境共生科学科	前	35	49	47	42	0	1.1	
		後	11	55	15	12		1.3	
	計	前	106	114	111	106	0	1.0	
		後	22	121	34	31		1.1	
合 計			774	3,043	1,680	882	5	1.9	

総合型選抜Ⅰ「へるん入試」

学 部	学科・課程・専攻等	募集人員						志願者	合格者
		へるん一般型	地域志向 (島根県・鳥取県特)	地域志向 (全県特)	専門 高校	グローバル 英語	芸術・ スポーツ・ 技能		
法 文 学 部	法経学科	23	6	6	2	6		59	32
	社会文化学科	13						50	20
	言語文化学科	14						41	18
	計	50	6	6	2	6		150	70
教 育 学 部	課 学 校II教育 程 校 類 教育	保健体育科教育専攻					3	14	4
		音楽科教育専攻					5	19	6
		美術科教育専攻					2	9	2
	計						10	42	12
総 合 理 工 学 部	理工工学科	15	14			1		10	10
	物質化学科	17		1	1	1		18	18
	地球科学科	14				1		7	7
	数理科学科	14				1		20	16
	知能情報デザイン学科	12		1	4	1		33	20
	機械・電気電子工学科	12		1	3	1		32	18
	建築デザイン学科	6		1		1	5	37	25
	計	90		14	4	8	7	157	114
エ ネ ル ギ ー 学 部	材料エネルギー学科	12	8		3	3		24	24
		12	8		3	3		24	24
生 物 資 源 科 学 部	生命科学科	19	8	3	5	3		35	24
	農林生産学科	15						34	26
	環境共生科学科	14						37	25
	計	48	8	3	10	3		106	75
合 計		200	36	13	23	19	15	479	295

総合型選抜Ⅱ

学 部	学科・課程・専攻等	募集人員	志願者	合格者
教育学部	学校教育課程I類	42	103	45
	計	42	103	45
人間科学部	人間科学科	32	79	33
	計	32	79	33
合 計		74	182	78

学校推薦型選抜Ⅱ

学 部	学科・課程・専攻等	募集人員	志願者	合格者
医学部	医学科	25以内	86	25
	看護学科	15	30	15
	計	40	116	40
材料エネルギー学部	材料エネルギー学科	6	7	6
	計	6	7	6
合 計		46	123	46

地域枠学校推薦型選抜

学 部	学科・課程・専攻等	募集人員	志願者	合格者
医学部	医学科	10以内	7	2

緊急医師確保対策枠学校推薦型選抜



◎入試に関するお問い合わせ先

■ 法文学部・教育学部・人間科学部・総合理工学部

材料エネルギー学部・生物資源科学部（松江キャンパス）

島根大学 教育・学生支援部 入試課

〒690-8504 島根県松江市西川津町1060

TEL: (0852) 32-6073 FAX: (0852) 32-9726

E-mail: epd-nnyushi@office.shimane-u.ac.jp

■ 医学部（出雲キャンパス）

島根大学 医学部 学務課 入試担当

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町89-1

TEL: (0853) 20-2087 TEL: (0853) 20-2079

E-mail: nyusi@med.shimane-u.ac.jp



ホームページ
入試情報〈PCサイト〉



大学案内2025アンケート

大学案内を作成するため、
今後の参考とさせていただきますので、
ぜひアンケートにご協力願います。



島根大学 携帯電話サイト

本学のオープンキャンパス情報、
資料請求方法、出願状況速報などの
各種情報を携帯電話で閲覧できます。